

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター記録(6)

I. (公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

II. (公社)茨城県歯科医師会 口腔センター土浦

平成 28 年度

(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)



公益社団法人

茨城県歯科医師会

Ibaraki Dental Association

目 次

1. 口腔センター在籍者名簿	2~6
2. 口腔センター診療内容・日程	7
3. 誌 上 発 表	8~9
4. 学 会 発 表	10
5. 学 会 抄 録	11~15
6. 講 演 会 ・ 研 修 会	16~17
7. 講 演 会 ・ 研 修 会 要 旨	18~22
8. 患 者 統 計 ・ 研 究 業 績	23~30
9. 写 真 で 綴 る こ の 1 年	31~38
10. 録 事	39~46
11. 編 集 後 記	47

1. 口腔センター在籍者名簿

I. 口腔センター水戸



関口 浩
歯科医師



大森 勇市郎
歯科医師



三田村 佐智代
歯科医師



森永 桂輔
歯科医師



景山 万貴子
歯科医師



グリーンせつる
歯科医師



野村 美奈
歯科衛生士



鈴木 哉絵
歯科衛生士



鬼澤 璃沙
歯科衛生士



鈴木 伶菜
歯科衛生士



大輪 菜摘
歯科衛生士



金子 雅子
歯科衛生士



高橋 裕子
歯科衛生士



横山 恵美子
歯科衛生士



磯野 敦
言語聴覚士



山田 亜紀子
言語聴覚士



庄司 紀子
看護師



高橋 千恵子
看護師



梅原 加代
看護師



磯部 昌己
受付事務



荒木 益代
器具洗浄



今井 久美子
器具洗浄

1. 口腔センター在籍者名簿

I. 口腔センター水戸

関口 浩(専任歯科医師), センター長, 医療管理者 在籍期間：平成 21 年 9 月 1 日～現在 日本障害者歯科学会認定医, 日本小児歯科学会専門医指導医, 日本外傷歯学会指導医
大森 勇市郎(非常勤歯科医師) 大森矯正歯科クリニック院長 在籍期間：平成 5 年 4 月 12 日～現在 日本障害者歯科学会認定医, 日本矯正歯科学会認定医
三田村 佐智代(非常勤歯科医師) 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座講師 在籍期間：平成 18 年 4 月 1 日～現在 日本障害者歯科学会認定医, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
森永 桂輔(非常勤歯科医師) 森永歯科医院副院長, 富士市立中央病院・石岡第一病院非常勤麻酔医 在籍期間：平成 22 年 5 月 1 日～現在 日本歯科麻酔学会認定医, アメリカ心臓協会(AHA)BLS インストラクター 日本救急医学会 ICLS インストラクター
景山 万貴子(非常勤歯科医師) 日本大学松戸歯学部顎顔面矯正学講座助手 在籍期間：平成 25 年 4 月 1 日～現在
グリーンナンせつる(非常勤歯科医師) 在籍期間：平成 27 年 4 月 1 日～現在 日本障害者歯科学会認定医, 日本小児歯科学会専門医
野村 美奈(常勤歯科衛生士), 主任 在籍期間：平成 19 年 4 月 1 日～現在 平成 11 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日茨城歯科専門学校歯科衛生士科 日本障害者歯科学会認定歯科衛生士, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士(摂食嚥下リハビリテーション)
鈴木 哉絵(常勤歯科衛生士), 指導主事 在籍期間：平成 21 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日退職 日本障害者歯科学会認定歯科衛生士 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士(摂食嚥下リハビリテーション)
鬼澤 璃沙(常勤歯科衛生士), 助手 在籍期間：平成 25 年 4 月 1 日～現在 平成 23 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日茨城歯科専門学校歯科衛生士科
鈴木 伶菜(常勤歯科衛生士), 助手 在籍期間：平成 28 年 4 月 1 日～現在
大輪 菜摘(常勤歯科衛生士), 助手 在籍期間：平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日退職
金子 雅子(非常勤歯科衛生士) 在籍期間：平成 13 年 5 月 11 日～現在 日本歯科衛生士会認定歯科衛生士(在宅療養指導, 口腔機能管理)

<p>高橋 裕子(非常勤歯科衛生士) 在籍期間：平成 15 年 2 月 3 日～現在</p>
<p>横山 恵美子(非常勤歯科衛生士) 在籍期間：平成 27 年 4 月 1 日～現在</p>
<p>磯野 敦(非常勤言語聴覚士) 在籍期間：平成 27 年 4 月 1 日～現在 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士，認定言語聴覚士(摂食・嚥下障害領域) 児童発達管理責任者</p>
<p>山田 亜紀子(非常勤言語聴覚士) 在籍期間：平成 28 年 4 月 1 日～現在</p>
<p>庄司 紀子(派遣看護師) 茨城県病院局職員(茨城県立中央病院勤務) 派遣期間：平成 26 年 6 月 1 日～現在</p>
<p>高橋 千恵子(派遣看護師) 茨城県病院局職員(茨城県立中央病院勤務) 派遣期間：平成 26 年 6 月 1 日～現在</p>
<p>梅原 加代(派遣看護師) 茨城県病院局職員(茨城県立中央病院勤務) 派遣期間：平成 29 年 2 月 6 日～現在</p>
<p>磯部 昌己(非常勤) 在籍期間：平成 25 年 4 月 22 日～現在</p>
<p>荒木 益代(非常勤) 在籍期間：平成 28 年 4 月 18 日～現在</p>
<p>今井 久美子(非常勤) 在籍期間：平成 28 年 4 月 18 日～現在</p>

1. 口腔センター在籍者名簿

II. 口腔センター土浦



丸山 容子
歯科医師



高木 伸子
歯科医師



西山 めい
歯科医師



地主 知世
歯科医師



坂巻 ますみ
歯科衛生士



引地 美穂
歯科衛生士



木村 貴子
歯科衛生士



狩野 晴美
歯科衛生士



雨海 正江
歯科衛生士



手塚 文栄
管理栄養士

1. 口腔センター在籍者名簿

II. 口腔センター土浦

丸山 容子(非常勤歯科医師), 医療管理者 在籍期間：平成 6 年 4 月 1 日～現在 日本障害者歯科学会認定医, 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
高木 伸子(非常勤歯科医師) たかぎ歯科医院長 在籍期間：平成 4 年 9 月 29 日～現在 日本小児歯科学会専門医, 日本障害者歯科学会認定医, 介護支援専門員 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士, 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
西山 めい(非常勤歯科医師) 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座助手 在籍期間：平成 27 年 4 月 3 日～平成 29 年 3 月 31 日退任 日本障害者歯科学会認定医
地主 知世(非常勤歯科医師) 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座助手 在籍期間：平成 27 年 12 月 14 日～現在 日本障害者歯科学会認定医
坂巻 ますみ(常勤歯科衛生士), 主任 在籍期間：平成 25 年 4 月 1 日～現在 日本障害者歯科学会認定歯科衛生士, 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
引地 美穂(常勤歯科衛生士), 助手 在籍期間：平成 27 年 4 月 1 日～現在
木村 貴子(非常勤歯科衛生士) 在籍期間：平成 17 年 10 月 25 日～現在 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
狩野 晴美(非常勤歯科衛生士) 在籍期間：平成 21 年 6 月 12 日～現在 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
雨海 正江(非常勤歯科衛生士) 在籍期間：平成 28 年 4 月 1 日～現在
手塚 文栄(非常勤管理栄養士) 在籍期間：平成 9 年 7 月 7 日～現在 管理栄養士, 准看護師, 日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 日本咀嚼学会健康咀嚼指導士, 日本栄養士会認定在宅訪問管理栄養士

2. 口腔センター診療内容・日程

I. 口腔センター水戸

1) 診療内容

- ①一般歯科・小児歯科・歯科口腔外科などの歯科診療
歯科診療に対する不安・恐怖を乗り越えられるような対応を心がけて診療を行います。
- ②日帰り全身麻酔，静脈内鎮静，笑気吸入鎮静
処置回数が多く，集中治療の必要がある場合や恐怖心や不安感が強く，歯科治療が安全に行えない場合などに行います。
- ③口腔健康管理・指導
歯科衛生士による歯面清掃，歯石除去，フッ化物塗布などの専門的な口腔健康管理，また間食指導，発達や機能に応じた歯みがきなどの支援を行います。
- ④摂食嚥下リハビリテーション
食べることが上手にできない方を対象に専門スタッフが指導を行います。
- ⑤ことばの教室
自分の気持ちを言葉で表現できなかつたり，発音がしにくいなど，コミュニケーションや発声でお困りのお子さんに言語聴覚士が指導・助言を行います。

2) 診療日程・内容・担当医

診療内容	月	火	水	木	金
歯科診療	関口 景山	関口 三田村	関口 グリーンせつる	関口 大森(午前)	関口 大森
摂食嚥下リハビリテーション		三田村			
静脈内鎮静	森永	森永	森永	森永 (第2・4木曜)	森永 (第2・4金曜)
日帰り全身麻酔	森永				
小児予防歯科診療				関口(午後)	
ことばの教室		山田 (第4火曜)	磯野		山田 (第1金曜)
静脈内鎮静：午後1時～3時 日帰り全身麻酔：午前8時30分～午後12時 小児予防歯科診療：午後1時～5時					

II. 口腔センター土浦

1) 診療内容

- ①一般歯科
歯科診療に対する不安・恐怖を乗り越えられるような対応を心がけて診療を行います。
- ②笑気吸入鎮静法
恐怖心を和らげ，精神的にリラックスした状態で治療が受けられます。
- ③口腔健康管理・指導
歯科衛生士による歯面清掃，歯石除去，フッ化物塗布などの専門的な口腔健康管理，また発達や機能に応じた歯みがき指導などの支援を行います。
- ④摂食嚥下リハビリテーション
食べることが上手にできない方を対象に専門スタッフが指導を行います。

2) 診療日程・内容・担当医

診療内容	月	火	水	木	金
歯科診療	地主	丸山	丸山	丸山	西山
摂食嚥下リハビリテーション				高木 (月1～2回)	

3. 誌上発表

I. 口腔センター水戸

No	題 名	著 者	掲載誌	発行日
1	私の障害者歯科診療～第2報～	大森勇市郎 村居幸夫 征矢亘 森永和男	茨歯会報 No.564 4月号 20-22頁	平成28年 4月
2	口腔センター水戸で障害者(児)・高齢者歯科治療に携わって	景山万貴子 村居幸夫 征矢亘 森永和男	茨歯会報 No.566 6月号 11-12頁	平成28年 6月
3	ピンクのエプロン	鬼澤璃沙	茨歯会報 No.566 6月号 22頁	平成28年 6月
4	(公社)茨城県歯科医師会主催「平成28年度第1回障害児・者歯科講演会」報告	関口浩夫 村居幸夫 征矢亘 森永和男	茨歯会報 No.567 7月号 9-11頁	平成28年 7月
5	障害者歯科に3年間携わって	鬼澤璃沙	茨歯会報 No.568 8月号 39-40頁	平成28年 8月
6	平成28年度 障害児・者歯科研修会：ベーシックコース報告～研修者によるアンケート評価～	関口浩夫 村居幸夫 征矢亘 森永和男	茨歯会報 No.570 10月号 43-46頁	平成28年 10月
7	当センターにおける摂食嚥下リハビリテーション外来10年間の実態調査	野村美奈 三田村佐智代 鈴木哉絵 鬼澤璃沙 関口浩夫 村居幸夫 征矢亘 森永和男	茨歯会報 No.572 12月号 21-23頁	平成28年 12月
8	平成28年度摂食嚥下研修会を終えて	鈴木哉絵 三田村佐智代 野村美奈 村居幸夫 征矢亘 森永和男	茨歯会報 No.574 2月号 15-18頁	平成29年 2月
9	(公社)茨城県歯科医師会主催 第2回障害児・者歯科講演会	関口浩夫 村居幸夫 征矢亘 森永和男	茨歯会報 No.575 3月号 27-29頁	平成29年 3月

3. 誌上発表

II. 口腔センター土浦

No	題 名	著 者	掲載誌	発行日
1	障害児・者の歯科治療における行動調整について	高 木 伸 子 村 居 幸 夫 征 矢 亘 森 永 和 男	茨歯会報 No.565 5月号 21-23頁	平成28年 5月
2	「摂食嚥下機能の正常発達と発達期障害児・者への対応」の講演会に参加して	木 村 貴 子 村 居 幸 夫 征 矢 亘 森 永 和 男	茨歯会報 No.568 8月号 38-39頁	平成28年 8月
3	マウスピースを作りました	狩 野 晴 美 村 居 幸 夫 征 矢 亘 森 永 和 男	茨歯会報 No.569 9月号 21-22頁	平成28年 9月
4	第6回重症心身障害者等支援従事者研修会に参加して	坂 卷 ま す み 村 居 幸 夫 征 矢 亘 森 永 和 男	茨歯会報 No.571 11月号 22-23頁	平成28年 11月
5	写真でみる歯科で働く栄養士	手 塚 文 栄	茨歯会報 No.574 2月号 19-21頁	平成29年 2月

4. 学会発表

I. 口腔センター水戸

No	発表形式	題名	発表者	発表学会	発表日	抄録掲載誌
1	ポスター	某歯科医師会における障害児・者歯科研修会への取り組み	関口 浩 大森 勇市郎 三田村 佐智代 森 永 桂 輔 グリーンせつゑ 高木 伸子 梅澤 幸司 野村 美奈絵 鈴木 哉絵 手塚 文栄 野本 たかと 森 永和男	第 33 回 日本障害者歯科学会 総会および学術大会 (大宮)	平成 28 年 10 月 1-2 日	日本障害者歯科学会雑誌 37 巻 3 号 381 頁
2	ポスター	当センターにおける摂食嚥下リハビリテーション外来 10 年間の実態調査	野村 美奈絵 鈴木 哉絵 鬼澤 璃沙 山下 千春 関口 浩 森 永和男	第 33 回 日本障害者歯科学会 総会および学術大会 (大宮)	平成 28 年 10 月 1-2 日	日本障害者歯科学会雑誌 37 巻 3 号 287 頁
3	ポスター	日帰り全身麻酔下歯科診療時の記録に関する取り組みと課題 - 手術室看護師と歯科衛生士のクリニカルパス形式の記録の活用 -	庄 司 紀子 高橋 千恵子 野村 美奈絵 鈴木 哉絵 鬼澤 璃沙 角田 直枝 森 永和男	第 55 回 全国自治体病院学会 (富山)	平成 28 年 10 月 21 日	プログラム ・抄録集
4	ポスター	当センターにおける摂食嚥下リハビリテーションの取り組み	野村 美奈絵 鈴木 哉絵 三田村 佐智代 鬼澤 璃沙 関口 浩 村居 幸夫 森 永和男	第 20 回 茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 (水戸)	平成 28 年 12 月 3 日	茨城県総合リハビリテーションケア学会誌 25 巻 30 頁
5	ポスター	口腔センター水戸における初診小児患者の実態調査	関口 浩 野村 美奈絵 鈴木 哉絵 鬼澤 璃沙 鈴木 伶菜 大輪 菜摘子 大金 子雅 高山 裕子 森 永和男	第 25 回 茨城県歯科医学会 (水戸)	平成 29 年 3 月 12 日	プログラム ・抄録集 23 頁
6	口演 (テーブルクリニック)	歯科外来で役立つ心電図の基礎知識	森 永 桂 輔	第 25 回 茨城県歯科医学会 (水戸)	平成 29 年 3 月 12 日	プログラム ・抄録集 32 頁
7	口演	左側唇顎口蓋裂の既往がある知的障害者 20 年経過症例	大森 勇市郎	第 25 回 茨城県歯科医学会 (水戸)	平成 29 年 3 月 12 日	プログラム ・抄録集 19 頁

5. 学会抄録

I. 口腔センター水戸

発表 No.1

某歯科医師会における障害児・者歯科研修会への取り組み

関口 浩¹，大森勇市郎¹，三田村佐智代^{1,3}，森永桂輔¹，グリーンナンセつゑ¹，高木伸子²
梅澤幸司³，野村美奈¹，鈴木哉絵¹，手塚文栄²，野本たかと³，森永和男^{1,2}
(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸¹，(公社)茨城県歯科医師会口腔センター土浦²
日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座³

【緒言】

茨城県歯科医師会では、障害児・者歯科医療に取り組もうと考えている歯科医師、歯科衛生士ならびに既に携わっている方を対象に、「障害児・者歯科研修会：ベーシックコース」を開催している。今回、研修会のさらなる質的向上に役立てることを目的に受講者を対象に調査を実施した。

【対象および方法】

対象は、平成27年4月より6月末の3か月間に実施された研修会に参加した歯科医師6人、歯科衛生士8人の計14人である。講義・見学・実習の3項目について実施方法・内容・理解度などについてアンケート調査した。なお、本調査は受講者の承諾を得て行い、連結不可能な匿名化した資料を用いた。

【結果】

講義レベルはちょうど良かったが57.1%であった。内容を理解できたが57.1%であった。今後役に立つ内容だったが85.7%であった。テキスト・スライド・ビデオなどの教材は理解に役立ったが85.7%であった。今後もセンターでの研修を継続したいが90.9%であった。将来、日本障害者歯科学会の認定医を取得したいが45.5%であった。

【考察】

講義については基礎的なことが多く、理解しやすい内容だった、多くの講師の専門性の高い方々を集めた講義を聞いてよかった、非常にクオリティーの高い内容だと思うなど、受講者に知識を深める機会を提供できたと考える。一方、実習・見学については、障害児・者に対する配慮や対応法および治療の流れをチェアサイドで見学できたことは、障害児・者歯科医療の理解および専門性の習得、さらに今後の診療に役立つという意見が多かった。しかし、見学期間が短く、勤務先の時間調整が大変だったという意見があり、改善すべき課題であった。

【結論】

本研修会を通じて、歯科的問題を抱え、困っている県内の障害児・者の歯科医療に積極的に携わる歯科医師、歯科衛生士が一人でも多く増えて頂ければと考える。演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業・団体などはありません。

発表 No.2

当センターにおける摂食嚥下リハビリテーション外来 10年間の実態調査

野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，山下千春，関口 浩，森永和男
(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸

【緒言】

(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸(以下当センター)では、平成18年4月より摂食嚥下リハビリテーション外来(週1回)を開設し、食べる機能に障害のある方の診療・指導を行ってきた。開設より10年が経過した今回、摂食嚥下外来の現状を把握し、今後の地域における摂食指導の在り方について模索することを目的に実態調査を行ったので報告する。

【対象および方法】

平成 18 年 4 月から平成 27 年 3 月までの 10 年間に当センターの摂食嚥下リハビリテーション外来を受診した患者を対象とし、診療録より年齢、主な障害、主訴、受診動機等について情報を抽出し、集計および検討を行った。本調査は、日本障害者歯科学会倫理委員会の承認(臨床研究番号 160005)を得て行った。

【結果】

10 年間の患者数は 380 名、延べ患者数は 3,753 名であった。初診患者数は増加傾向にあり、平成 25 年度では最も多く 62 名であった。また、受診動機は平成 21 年度より医療機関からの紹介が増加した 99 名であった。年齢は 0 歳～5 歳までが最も多く 224 名で全体の約 6 割を占めていた。基礎疾患はダウン症が最も 95 名、次いで脳性麻痺 71 名であった。初診時の主訴は“かまない”が 7 名で最も多く、次いで、“食に対する拒否”39 名であった。

【考察およびまとめ】

医療機関からの紹介により来院する者が増加したことから、地域医療機関において摂食嚥下リハビリテーションの重要性が周知されてきていると考えられる。また、低年齢児の受診が 6 割以上を占めていたことは保護者の食べる事への関心が高く、早期からの相談を望んでいると考えられる。今後は、当センターにおける摂食嚥下リハビリテーション外来のみならず、食べる事への支援者の育成をより充実させ、相談のシステム化などの地域で食べる事への支援態勢の構築を行うことが必要と考える。

発表 No.3

日帰り全身麻酔下歯科診療時の記録に関する取り組みと課題 —手術室看護師と歯科衛生士のクリニカルパス形式の記録の活用—

庄司紀子¹、高橋千恵子¹、野村美奈²、鈴木哉絵²、鬼澤璃沙²、角田直枝¹、森永和男²
茨城県立中央病院茨城県地域がんセンター¹、(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸²

【緒言】

平成 26 年度より(公社)茨城県歯科医師会が管理・運営する施設で、主に障害児・者であり患者を対象とした日帰り全身麻酔下歯科診療を開始した。県内では他施設の看護師と歯科衛生士が協働で実施している施設はなく、記録などが無いため、共同で記載できるクリニカルパス形式の記録票(以下、パス)を作成した。その取り組みと課題を明らかにする。

【対象および方法】

平成 26 年 6 月から平成 28 年 5 月までに 27 例、延べ 31 例の日帰り全身麻酔下歯科診療を実施した。その間、歯科衛生士 3 名、看護師 2 名でパスに関する内容の検討を繰り返した。歯科処置内容、患者背景、バリエーション発生状況、チェック欄外の記入状況を振り返り、課題を分析した。

【結果および考察】

処置内容は、主にく蝕歯に対する歯冠修復処置および抜歯を実施した。障害は、脳性麻痺、知的障害、統合失調症、歯科恐怖症などであった。年齢は 2 歳から 30 歳代であった。診療中のバリエーションの発生は 0 件であった。初回診療時は、主に看護処置が記載できる全身麻酔用看護記録パスを作成し使用した。チェック欄外の記録は、メモ程度に残したい記録が多かった。チェック方式で記載できなかった記録や記録や歯科衛生士が記録に残す内容をパスに追加した。2 回目以降はチェック欄外の記入内容は減少、回復室での特記事項を記載できるフリースペースを経過記録欄として作成した。さらに、翌日の患者の状況を電話で確認、その内容を記録として残せる項目を追加した。全例にパスが使用でき、周術期の患者情報を 1 枚の用紙で運用・確認できるようになった。現在は、開始時と同メンバーで構成させており問題なく使用できている。今後メンバー構成が変更されることも予測されるため、記録手順の作成が必要である。クリニカルパスとしては、麻酔などで使用した薬剤のコストが取れないことが問題である。

【結論】

手術室看護師と歯科衛生士が検討を繰り返し修正することで、有効なパスができた。記録のための手順作成やコストがとれるクリニカルパスを作成することが今後の課題である。

発表 No.4

当センターにおける摂食嚥下リハビリテーションの取り組み

野村美奈¹，鈴木哉絵^{1,2}，三田村佐智代，鬼澤璃沙¹，関口 浩¹，村居幸夫¹，森永和男¹
(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸¹，日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座²

【緒言】

(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸(以下当センター)では、平成 18 年 4 月より摂食嚥下リハビリテーション外来を開設し、食べる機能に障害のある方の診療を行っている。外来の患者数は年々増加傾向にあり、県外など広範囲からの来院があることや公益社団法人である当センターの立場から地域における支援態勢の構築が必要と考え、平成 22 年より療育施設や特別支援学校での研修会・実習や障害児者にかかわる職種を対象に、支援者の育成を目的とした摂食嚥下に関する研修会を行ってきた。そこで今回、当センターでの摂食支援の取り組みについてまとめたので報告する。

【取り組み内容】

- ①摂食嚥下リハビリテーション外来：当センター摂食嚥下リハビリテーション外来は毎週火曜日に歯科医師 1 名と歯科衛生士 2 名で行っている。また、必要に応じて言語聴覚士、学校の教員、施設職員等が参加し、可能な限りチームアプローチができるよう配慮をしている。開設からの 10 年間の患者数は 380 名、延べ患者数は 3,753 名で、初診患者数は増加傾向にある 0 歳～5 歳までの低年齢層が多いのが特徴で、全体の約 6 割を占めている。また、受診経緯は、医療機関からの紹介が最も多く、初診時の主訴は“かまない”次いで“食に対する拒否”であった。
- ②地域施設等における支援：療育施設、特別支援学校、障害児者施設等の地域での支援を行ってきた。療育施設では、保護者研修会や施設職員・保護者・保育士等と摂食相談・指導とケースカンファレンス等を行い、特別支援学校では、学校主催の職員及び保護者向けの研修会・実習、平成 25～27 年度には特別支援学校機能強化事業として 6 校で研修会や実践研究等を行った。また、障害児者入所施設では、食事の支援状況の把握、職員に対する研修会等を行った。
- ③摂食嚥下研修会：茨城県歯科医師会では、地域の障害児者にかかわる方々や保護者を対象に摂食嚥下に関する研修会を行っている。平成 20 年度より年 1 回の研修会を行ってきたが、アンケート調査において、詳細な内容や具体的な対応についての研修を望む意見が多く、年 1 回の講習会では十分な支援を行うことは困難と考え、平成 24 年度より地域の障害のある者にかかわる職種を対象に、より熟練した支援者の育成を目指す事を目的に年 5～6 回の摂食嚥下研修会を開催してきた。

【考察およびまとめ】

当センターでは、低年齢児の受診が 6 割以上を占めていた。その多くが医療機関からの紹介であり、医療と歯科医療、医療と生活の場をつなぐ体制は徐々に整ってきていると考える。しかしながら、地域施設等における支援場面や摂食嚥下研修会では、実践的な内容を要望されることが多く、支援者たちの日々の戸惑いは大きい。今後は、当センターが地域における医療と療育・教育と生活の場をつなぐ役割を担い、食べる事への支援者の育成をより充実させることが必要と考える。

発表 No.5

口腔センター水戸における初診小児患者の実態調査

関口 浩¹，野村美奈¹，鈴木哉絵¹，鬼澤璃沙¹，鈴木伶菜¹
大輪菜摘¹，金子雅子¹，高橋裕子¹，山下千春²，森永和男¹
(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸¹，(公社)茨城歯科専門学校歯科衛生士科²

【緒言】

平成 27 年度口腔センター水戸の全来院患者について年齢別来院状況を調査した結果、20 歳未

満が全体の 48.3%を占めていた。来院患者の約半数が小児であることから、小児患者の歯科診療の実態を調査し、診療状況を明らかにすることは医療サービスの向上に役立てるとともに、センターの現状を地域へ発信することで、より密接な医療連携に繋げていくことになる。そこで今回、口腔センター水戸における初診小児患者の実態について調査を行った。

【対象および方法】

対象は平成 25 年 6 月から平成 28 年 9 月までの 3 年 4 か月間に、(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸に来院した 20 歳未満の初診小児患者 285 名である。調査項目は、対象者の医療面接、問診、診療記録から障害の有無・種類、性別、初診時年齢、居住地、来院経緯、来院目的、齲蝕歯数、治療時の対応を調査した。

【結果】

- ①全初診患児に対する障害児の割合は 60.4%(172 名)であり、健常児の割合は 39.6%(113 名)であった。
- ②性別は男児 62.8%(179 名)、女児 37.2%(106 名)であった。
- ③年齢は 1 歳～5 歳の幼児が 51.9%(148 名)と最も多く、次いで、6 歳～12 歳の学童 33.4%(95 名)、13 歳～19 歳の青年 13.0%(37 名)40 名、1 歳未満の乳児 1.6%(5 名)であった。
- ④居住地は県内 44 市町村のうち 32 地区から来院し、最も来院数が多かったのは水戸市の 75 名(26.3%)であった。次いで、ひたちなか市 40 名(14.0%)、笠間市 26 名(9.1%)であった。
- ⑤障害の種類は知的能力障害が最も多く 136 名、次いで、自閉スペクトラム症 98 名、症候群 13 名であった。
- ⑥来院経緯は医療機関の紹介が最も多く 57.6%、次いで、学校・施設の紹介 16.5%、電話・HP 検索 13.3%、知り合いの紹介 12.6%であった。
- ⑦来院目的は齲蝕治療が最も多く 224 名、次いで、予防・健診 22 名、歯の萌出異常・交換期障害 15 名であった。
- ⑧齲蝕歯数は 1～5 本が最も多く 45.7%、次いで、6～10 本 26.3%、11～15 本 16.3%、16～20 本 9.9%、21～25 本 0.9%であった。
- ⑨対応法は身体抑制法が最も多く 58.2%、次いで、行動調整法 24.9%、全身麻酔 9.5%、静脈内鎮静法 7.0%であった。

【考察および結論】

初診小児患児の多くは、治療拒否で体動があるため地域の歯科医療機関では対応が困難と判断された小児である。これら患児の半数以上が 6 歳未満であり、主な来院目的は、齲蝕治療である。最近では、障害児に加えて、健常児の来院者数が増加傾向にある。これは、口腔センター水戸では小児歯科専門医が在勤し、対応可能な体制にあるため、紹介されて来院する機会が増えたためと思われる。

治療困難な患児に対しては、その難易度および齲蝕罹患状況を考慮して、対応方法を決めている。静脈内鎮静法および全身麻酔法の導入により、対応の範囲が拡がり、また安全性の向上により、適正な歯科治療が行える状況にある。

今後も、口腔センター水戸では県内各地域の歯科治療困難な障害児および健常児を受け入れ、治療に携わっていくことが責務と考える。

発表 No.6

歯科外来で役立つ心電図の基礎知識

森永桂輔

森永歯科医院(水戸市歯科医師会)、(公社)茨城県歯科医師会口腔センター水戸
(公社)地域医療振興協会石岡第一病院、富士市立中央病院

平成 27 年国勢調査によれば、総人口に占める 65 歳以上の割合(高齢化率)が過去最高となる 26.7%に達したことが明らかになりました。1920 年の国勢調査開始以来、高齢者が 25%を超えたのは初めてとなります。このような状況において、歯科外来を受診する高齢者数も増え、基礎

疾患に糖尿病・心臓病・不整脈など、心電図のモニタリングが必要なケースも増加してくることは容易に想像できます。

心電図を正確に判読するためには、12誘導の心電図を用いて、多角的に心臓を捉えることが必要ですが、一般歯科外来において12誘導心電図を備えている医療機関は、ほとんどないと思われれます。そもそも、12誘導心電図を記録しながら診療をするということ自体、非現実的なことです。

通常は生体情報モニターに備わっている一つの誘導(主に第II誘導)を用いて、心電図をモニタリングすることになります。患者の心臓が発するSOSを見逃さず、危険な状況を見極めるには、そのひとつの誘導で得られる情報の内容と限界を理解しておくことが重要です。

心電図と聞くと、苦手意識のある方も多いかもしれませんが、ルールさえ覚えてしまえば、あとはクイズのようなもので、心電図の判読自体は、とても面白いものです。私自身、循環器の専門医のような高度な判読はできませんが、麻酔医としての経験から、危険な心電図を察知する力は自然と身につけることができました。

今回の発表の前半部分では、第II誘導でどんな情報が得られるのか、そして第II誘導だけでは何が解らないのか、どうして12個ある誘導のうち第II誘導を選択するのかなど、心電図の基礎を踏まえてご説明し、後半部分では実際の症例を提示し、心電図から患者さんの容態を推察し治療方針の決定まで、みなさんと一緒に考えていきたいと思えます。

発表 No.7

左側唇顎口蓋裂の既往がある知的障害者20年経過症例

大森勇市郎

大森矯正歯科クリニック(水戸市歯科医師会)

唇顎口蓋裂の咬合治療については標準的な治療ガイドラインがあるが、今回、必要最小限の介入により良好な口腔機能が得られている症例を経験したので報告する。

患者は左側唇顎口蓋裂の既往を有する初診時年齢10歳2ヶ月の女性である。小頭症のため軽度の知的障害を有している。顔貌は下顎は後方位で小さくかつ左方に偏位していた。口腔内は顎裂部に対する一次閉鎖手術は終了しているものの、左側上顎側切歯部に顎裂が残存し、顎位が不安定な状態であった。初診時の診断は「左側臼歯部が交叉咬合を呈する、Skeletal Cl. II, Ave.face, facial asymmetry, 上顎切歯が過度に舌側傾斜し、上顎歯列の狭窄・中等度以上の負の Arch length discrepancy を有する、両側上顎側切歯先天欠如の思春期性成長前期の女子症例」としました。治療計画は①上顎歯列の側方拡大、②顎裂部への骨移植、③思春期性成長終了まで成長観察、④再検査・再診断後マルチブラケット治療とした。

しかしながら、上顎歯列の側方拡大により咬合の安定は得られたものの、基礎疾患に伴う低体重と喘息の既往により、骨移植の延期を余儀なくされ、結局患者側の希望もあり骨移植は施行されなかった。一方、上顎歯列拡大後の保定装置をかねた顎裂部の保隙装置装着により、咀嚼・嚥下機能の大幅な改善が得られた。

その後、患者・家族は両側下顎第一小白歯の抜歯は受け入れたものマルチブラケット装置による本格矯正は希望せず現状維持を選択した。現在は定期的な歯科検診と口腔ケアを継続、2016年CT撮影により大きな骨欠損が確認されたが、安定した口腔機能が維持されている。

6. 講演会・研修会

I. 口腔センター水戸

1) 茨城県歯科医師会主催／講演会・研修会

(1) 障害児・者歯科講演会

No	題 名	演 者	参加人数	開催年月日
1	摂食嚥下機能の正常発達と発達期障害児・者への対応	野本たかと	133人	平成28年 6月5日
2	重症児の栄養と地域連携～小児の栄養の現状と課題：在宅医の立場から～	戸谷 剛	59人	平成29年 3月12日

(2) 障害児・者歯科研修会：ベーシックコース

No	内 容	演 者	参加人数	開催年月日
1	講義	水戸・土浦 口腔センター 歯科医師 歯科衛生士 言語聴覚士 管理栄養士	14人	平成28年 4月3日 4月17日
2	実習			平成28年 4月3日 4月17日
3	見学			平成28年 4月18日～ 9月30日

(3) 摂食嚥下研修会

No	内 容	演 者	参加人数	開催年月日
1	講義 食べるための構造とメカニズム	三田村佐智代	73人	平成28年 7月12日
2	講義 哺乳・離乳期の発達とその障害		51人	8月23日
3	講義 自食機能の発達とその障害		57人	10月11日
4	実習 摂食嚥下機能訓練の実際① 間接訓練		55人	11月8日
5	実習 摂食嚥下機能訓練の実際② 直接訓練		53人	11月29日
6	講義・ディスカッション 摂食嚥下機能障害への対応 ～各障害における摂食指導の実際～ 摂食嚥下機能評価の方法、事例検討(参加型)		49人	12月10日

2) 地域での講演・指導

(1) 茨城県特別支援学校主催／研修会

No	題 名	演 者	開催場所	開催年月日
1	安全に楽しく食事をするために ～食事(摂食・嚥下)に関する研修会と実習～ ・保護者及び関係者向けの講義 ・学校職員向けの講義・実習	野村美奈 (実習) 鈴木哉絵	県立水戸 特別支援 学校	平成28年 5月27日

(2) 療育施設主催／講演会

No	題 名	演 者	開催場所	開催年月日
1 3	・食べることに関する相談業務 内容：保護者から食べることに関する相談業務 職員・保育士とのケースカンファレンス	野村美奈 鈴木哉絵	坂東市 こども発 達支援セ ンター	平成28年 6月24日 7月21日 10月27日
4	食べる機能を育てるために ～保護者向けの研修会～ ・食べることに関する相談業務 内容：保護者から食べることに関する相談業務 職員・保育士とのケースカンファレンス	野村美奈		平成29年 1月19日

(3) ひたちなか市社会福祉協議会主催／講演会

No	題 名	演 者	開催場所	開催年月日
1	心身障害児療育訓練センター野蒜教室における 保護者勉強会 講話：食べる機能を育てる大切さ 実技：その子にあった摂食の仕方	鈴木哉絵 野村美奈	ひたちなか市総合福祉センター	平成 28 年 12 月 16 日
2	心身障害児療育訓練センターかなりや教室にお ける保護者勉強会 講話：歯の健康を保つために 実技：歯磨き指導	鈴木哉絵 鈴木伶菜		平成 29 年 1 月 5 日

(4) 第 5 回北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会主催／シンポジウム

No	題 名	演 者	開催場所	開催年月日
1	食べる機能に障害のあるこどもへの摂食支援の 取組み 障害者歯科治療センターにおける取組み	野村美奈	茨城県立 医療大学	平成 28 年 8 月 28 日

(5) 国立病院機構茨城東病院主催／第 6 回重症心身障害児等支援従事者研修会

No	題 名	演 者	開催場所	開催年月日
1	(公社)茨城県歯科医師会 茨城県口腔センターに おける障害児・者歯科医療の取り組みと課題	関口 浩	土浦共同 病院	平成 28 年 10 月 29 日

II. 口腔センター土浦

1) 茨城県歯科医師会主催／講演会・研修会

(1) 障害児・者歯科講演会

No	題 名	演 者	参加人数	開催年月日
1	発達的な偏りを持つ子どもの伸びやかな育ち を支えるために～それぞれのライフステージ での大人の関わりのポイントを考える～	藤川志つ子	58 人	平成 29 年 2 月 5 日

7. 講演会・研修会要旨



公益社団法人 茨城県歯科医師会主催



裏面あり

平成28年度『障害児・者歯科研修会：ベーシックコース』のご案内

対象 茨城県在住または在勤の歯科医師および歯科衛生士で、これから障害児・者歯科診療に取り組もうと
考えている方ならびにすでに取り組まれている方。

研修期間 6ヶ月（平成28年4月3日～9月30日）

**研修項目
日程
場所**

1. 講義 日程：4月3日(日)、4月17日(日)の2日
場所：茨城県歯科医師会館3階 第1会議室
2. 実習 日程：4月3日(日)、4月17日(日)の2日
場所：口腔センター水戸診療室
3. 見学 日程：4月18日(月)～9月30日(金)の期間
場所：口腔センター水戸、口腔センター土浦
見学は2回の講義、実習を修了された方のみ可能です。
所定の見学期間中に通算で25時間以上の見学を行ってください。さらに見学を希望され
る方は平成29年3月末まで延長することが可能です（時間数は問いません）。
※研修内容の詳細は、裏面をお読みください。

受講料 無料（受講者の宿泊費、食費、交通費は受講者の負担とする）
※非会員歯科医師 資料代 35,000円（税込）
非会員歯科衛生士 資料代 15,000円（税込）
※参考図書 3,888円（税・送料込）

申込方法 専用申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
申込多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込締切 平成28年2月29日（月）

定員 歯科医師4名、歯科衛生士4名 計8名

問合せ先 口腔センター水戸 TEL. 029 (254) 4177
問合せ受付時間：月～金 午前9:00～12:00／午後1:00～5:00

修了証 講義・実習・見学の全課程を修了された方には、茨城県歯科医師会より修了証を発行します。

講師

氏名	指導医・専門医・認定医
関口 浩	日本障害者歯科学会認定医、日本小児歯科学会指導医、日本外傷歯学会指導医
大森 勇市郎	日本障害者歯科学会認定医、日本矯正歯科学会認定医
三田村 佐智代	日本障害者歯科学会認定医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
森 永 桂 輔	日本歯科麻酔学会認定医、アメリカ心臓協会(AHA)BLSインストラクター、日本救急医学会 ICLSインストラクター
グリーンンせつゑ	日本障害者歯科学会認定医、日本小児歯科学会専門医
高木 伸子	日本障害者歯科学会認定医、日本小児歯科学会専門医、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、介護支援専門員、日本咀嚼学会健康咀嚼指導士
梅澤 幸司	日本障害者歯科学会指導医
野村 美奈	日本障害者歯科学会認定歯科衛生士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、日本歯科衛生士会認定歯科衛生士(摂食嚥下リハビリテーション)
鈴木 哉 絵	日本障害者歯科学会認定歯科衛生士、日本歯科衛生士会認定歯科衛生士(摂食嚥下リハビリテーション)
手塚 文 栄	管理栄養士、准看護師、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士、日本咀嚼学会健康咀嚼指導士、日本栄養士会認定在宅訪問管理栄養士
磯野 敦	言語聴覚士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
河野 直弘	言語聴覚士

(公社) 茨城県歯科医師会主催 障害児・者歯科講演会

摂食嚥下機能の正常発達と 発達期障害児・者への対応

- 日 時：平成28年 6月5日(日) 午後1時30分～3時30分
- 会 場：茨城県歯科医師会館 3階講堂(水戸市見和2-292-1)
- 講 師：野本たかと先生(日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座 教授)
- 受講料：無料
- 一般の方も是非ご参加下さい。



(略歴)

平成 元年 日本大学松戸歯学部 卒業
平成 4年 日本大学松戸歯学部 助手 (障害者歯科学講座)
平成12年 日本大学松戸歯学部 講師 (障害者歯科学講座)
平成24年 日本大学松戸歯学部 准教授 (障害者歯科学講座)
平成26年 日本大学松戸歯学部 教授 (障害者歯科学講座)
現在に至る

(講師からのメッセージ)

摂食機能の発達は、おおよそ1歳～1歳半の間に完成するといわれています。摂食機能は、乳幼児期の様々な体験学習が感覚刺激となって発達します。しかしながら、発達期の障害児者ではこれらの学習不足あるいは誤学習などによって摂食嚥下機能に問題が生じています。「丸飲みしてしまう」、「あまり咬まない」、「食事にむせる」などの臨床症状は、誤嚥や窒息の危険性が高まってしまいます。それらを防止するためには、再度正しい学習をすることによって正常発達へと近づけることが重要となります。

本講演では、摂食機能の正常発達と発達期の障害児者への対応についてお話しさせて頂き、発達期の障害児者が“おいしく、楽しく、安全”に食べるための一助になれば幸いです。

- 申込み方法：下記申込書により、**6月1日(水)**までに下記あてにお申し込みください。

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

FAX：029-215-2573 または TEL：029-254-4177

参加申込書

※切り取らずにそのままFAX送信してください

(一般の方は、所属・職種は無記入で結構です)

診療所名		住 所	
氏 名		職 種	
電話番号		FAX番号	

茨城県歯科医師会主催 研修会のご案内

～発達期障害児・者の食べる機能を育てるために～

摂食嚥下研修会

☆ 開催日時：平成 28 年 7 月～12 月までの 全 6 回 ※下記プログラムのとおり

☆ 開催場所：茨城県歯科医師会館 3F 講堂（水戸市見和 2-292-1）

【講師】 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座 講師 三田村 佐智代 先生
(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸 非常勤医

講師プロフィール

日本障害者歯科学会認定医

日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士(歯科医師)

千葉県歯科医師会 摂食指導医

八千代・野田特別支援学校 非常勤講師(摂食)

松戸こども発達センター 摂食指導医

***スタッフ** (公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸所属歯科衛生士

【平成 28 年度プログラム】

月 日	時 間	内 容	
7月12日(火)	午後 6:20～7:50	第1回 講義	・食べるための構造とメカニズム
8月23日(火)	午後 6:20～7:50	第2回 講義	・哺乳・離乳期の発達とその障害
10月11日(火)	午後 6:20～7:50	第3回 講義	・自食機能の発達とその障害
11月 8日(火)	午後 6:20～7:50	第4回 実習	・摂食嚥下機能訓練の実際 ①
11月29日(火)	午後 6:20～7:50	第5回 実習	・摂食嚥下機能訓練の実際 ②
12月 11日(日)	午前 10:30～ 12:30	第6回 講義	・摂食嚥下機能障害への対応 —各障害における摂食指導の実際— ・摂食嚥下機能評価の方法
	午後 1:30～ 3:30	ディスカッション	・事例検討(参加型)

☆ 対 象：茨城県内の障害のある者に関わる職種の方

☆ 受講申し込み方法：裏面の申込書にて、一人一枚ずつお申し込みください

* 問い合わせ先 * 茨城県歯科医師会館内

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

◎FAX:029-215-2573 または TEL:029-254-4177

「発達的な偏いを持つ子どもの 伸びやかな育ちを支えるために」 ～それぞれのライフステージでの 大人の関わりのポイントを考える～

- 日 時：平成29年 2月 5日（日） 13時～15時（12時30分より受付開始）
- 会 場：霞ヶ浦医療センター 講堂 土浦市下高津 2-7-14 電話 029-822-5050
- 講 師：新渡戸文化短期大学 准教授 **藤川 志つ子先生**

*略歴

茨城県出身。川村学園女子大学修士課程修了。公立保育園で17年間勤務した後、大学院で臨床心理学を学び、臨床発達心理士と臨床心理士の資格を取得。資格取得後は、都内の療育施設や千葉県内の療育施設に勤務し、障害を持つお子さんへの療育と保護者支援、保育所・幼稚園への巡回相談を中心に活動。短期大学で保育者養成にも携わり、特別支援コースに関する科目を担当している。



*講師からのメッセージ

発達的に偏いを持つ子どもたちとお付き合いする時に彼らが「笑顔」になれる事は？「出来た」「楽しい」と思えることは？と探ることを心掛けています。子どもたちが笑顔になる事で、私も支えられています。そんな子どもたちも当然ですが「大人」になります。社会の一員として暮らしていく子どもたちの少し先の未来を見据えて、周囲の大人が今できることを一緒に考えたいと思います。

- 関心のある方はどなたでも参加できます。是非ご参加ください。
- 申込み方法：下記申込書により **1月31日まで**に下記あてに、お申し込み下さい
* (公社)茨城県歯科医師会 口腔センター 土浦
◎FAX：029-826-4832 または TEL：029-822-3835

※切り取らずに、そのままFAX送信して下さい

参加申込書

(一般の方は、所属・職種は無記名で結構です。)

氏 名		所 属	
住 所		職 種	
電話番号		FAX 番号	

第25回茨城県歯科医学会 障害児・者歯科講演会

(公社) 茨城県歯科医師会主催

重症児の栄養と地域連携

～小児の栄養の現状と課題：在宅医の立場から～

- 日 時：平成29年 **3月12日** (日) 午後1時～3時
- 会 場：水戸プラザホテル (水戸市千波町2078-1)
- 講 師：**戸谷 剛** 先生 (子ども在宅クリニック あおぞら診療所墨田 院長)
- 入 場：**無料**
- 一般の方も是非ご参加下さい。



(略歴)

平成9年 東京医科歯科大学医学部医学科卒業
平成9年 土浦協同病院研修医
平成12年 東京医科歯科大学医学部小児科医員
平成13年 武蔵野赤十字病院小児科
平成15年 川口工業総合病院小児科
平成17年 取手協同総合病院小児科
平成19年 あおぞら診療所新松戸
平成23年 子ども在宅クリニック あおぞら診療所墨田 副院長
平成25年 同 院長
現在 東京医科歯科大学医学部臨床教授
日本小児科学会社会保険委員会委員

(講師からのメッセージ)

在宅での重症児((超)重症児・重症心身障がい児)の栄養管理はしばしば生命の維持に視点を置いた管理で帰宅します。そのため在宅では生活と発育に視点を置いた「こころとからだ」を育む「ごはん」の視点にたった栄養調整への段階的な移行を行う必要があります。今回、在宅医の立場から重症児の栄養の現状と課題についてお話をします。

- 申込み方法：下記申込書により、**3月6日(月)**までに下記あてにお申し込みください。

(公社) 茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

FAX：029-215-2573 または TEL：029-254-4177

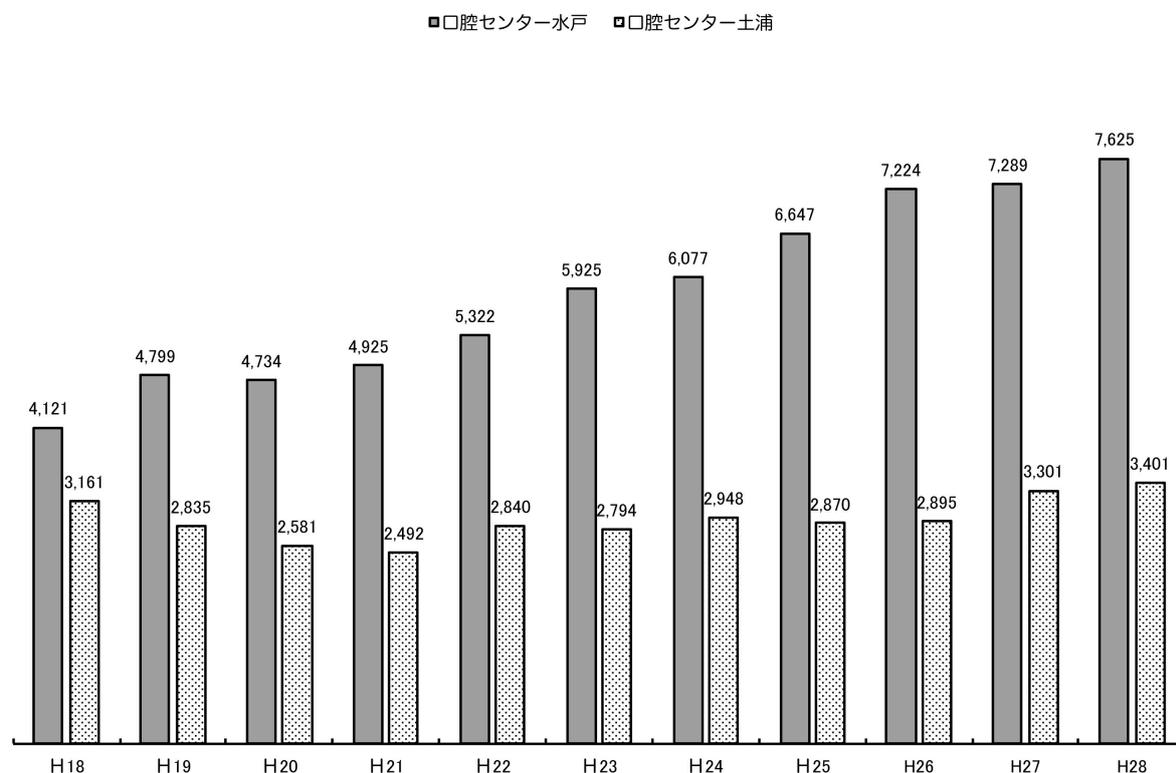
※切り取らずにそのままFAX送信してください

参加申込書

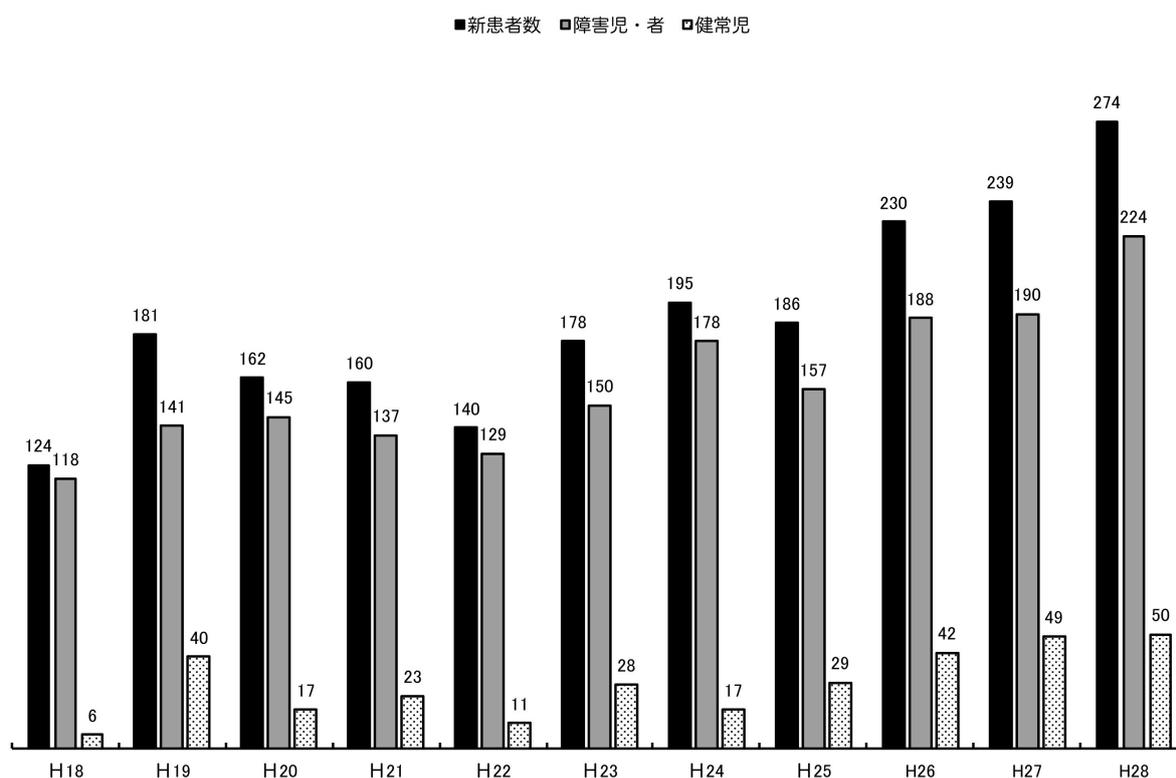
診療所名		住 所	
氏 名		職 種	
電話番号		FAX番号	

8. 患者統計・研究業績

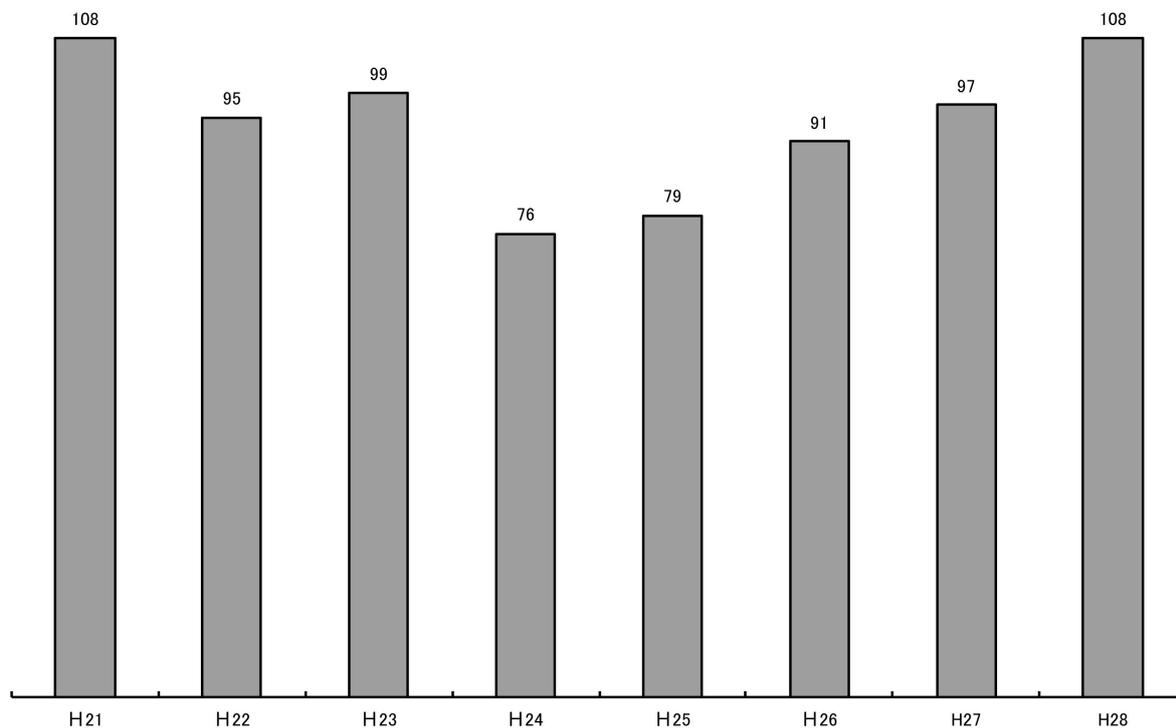
1) 口腔センター水戸および口腔センター土浦における延べ患者数の年度別推移



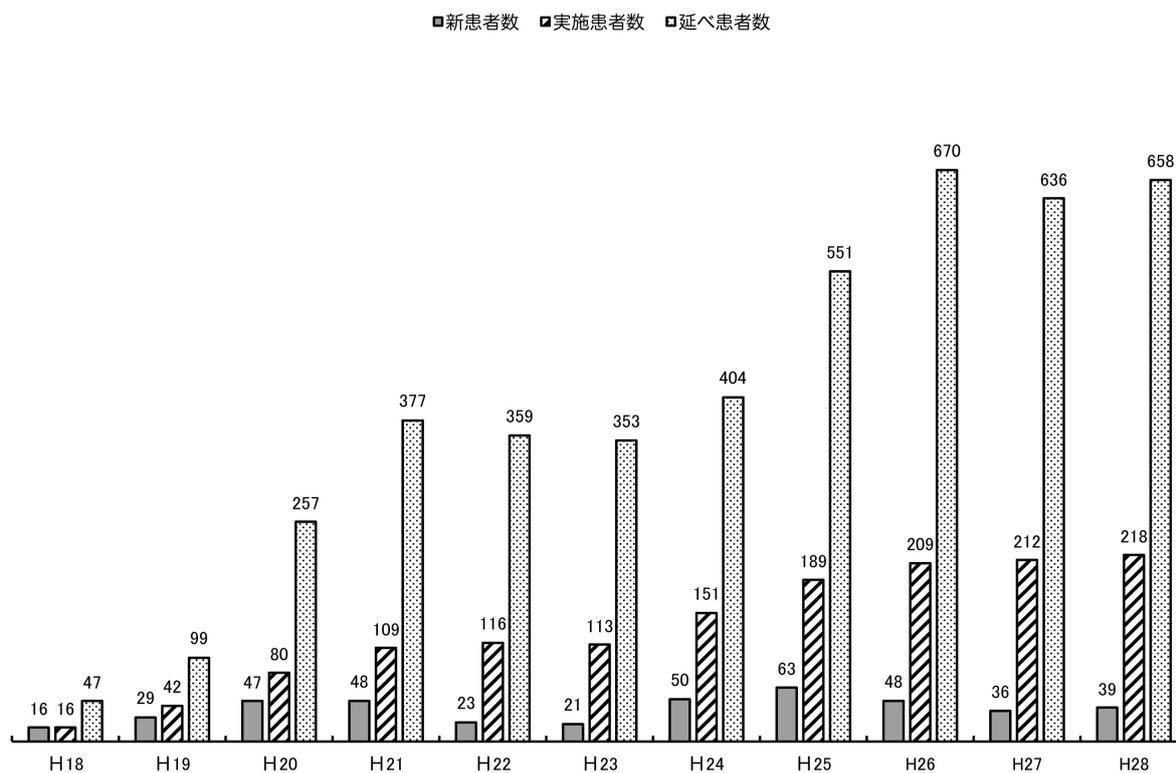
2) 口腔センター水戸における新患者数の年度別推移



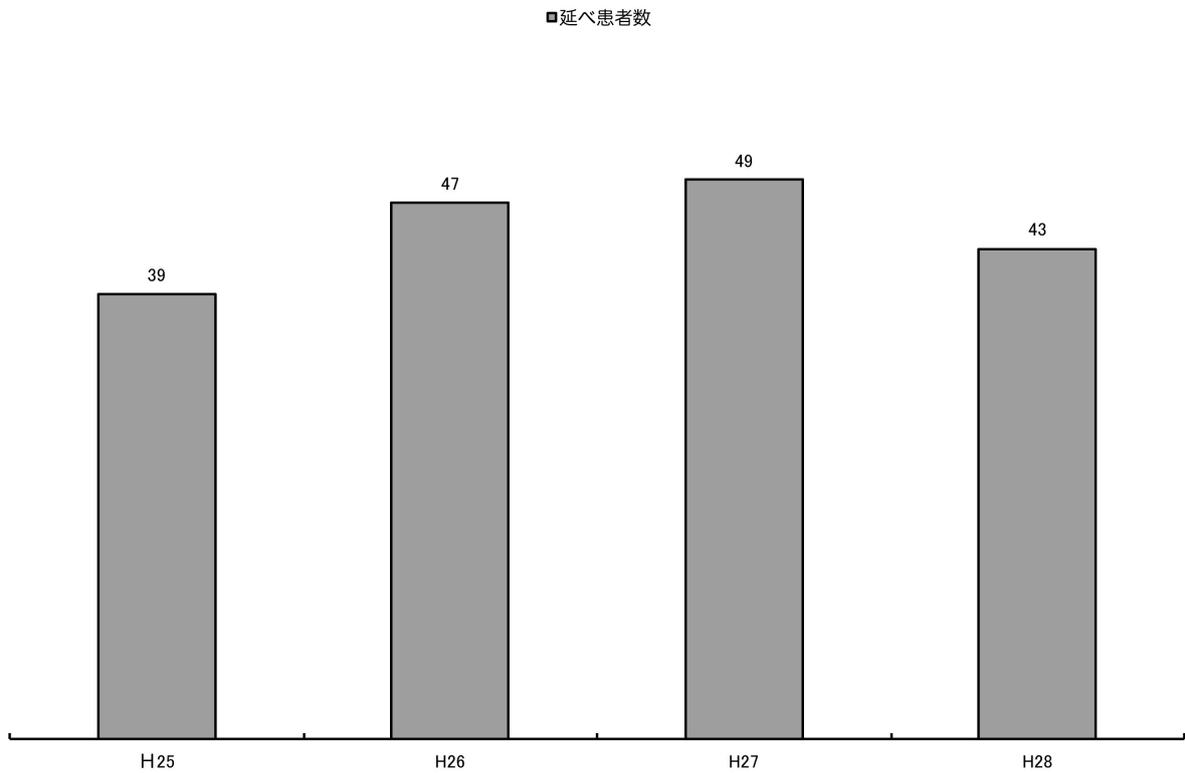
3) 口腔センター土浦における新患者数の年度別推移



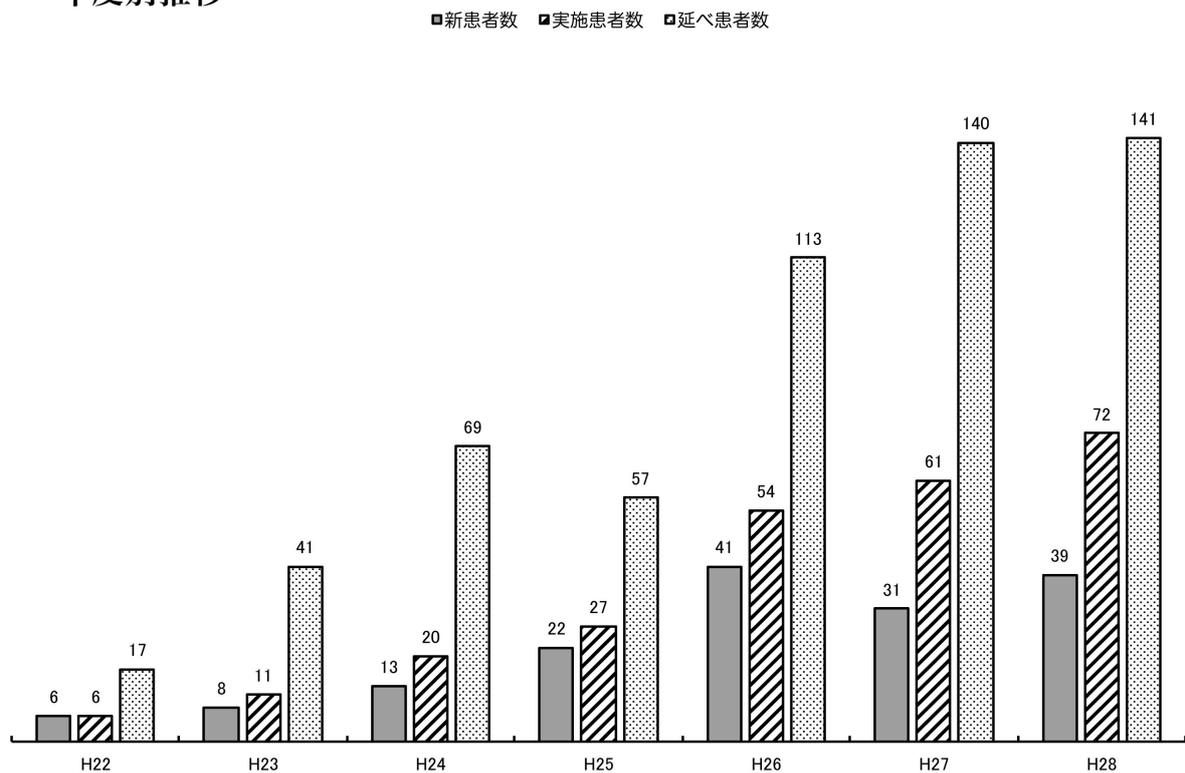
4) 口腔センター水戸における摂食嚥下リハビリテーション新患者数・延べ患者数の年度別推移



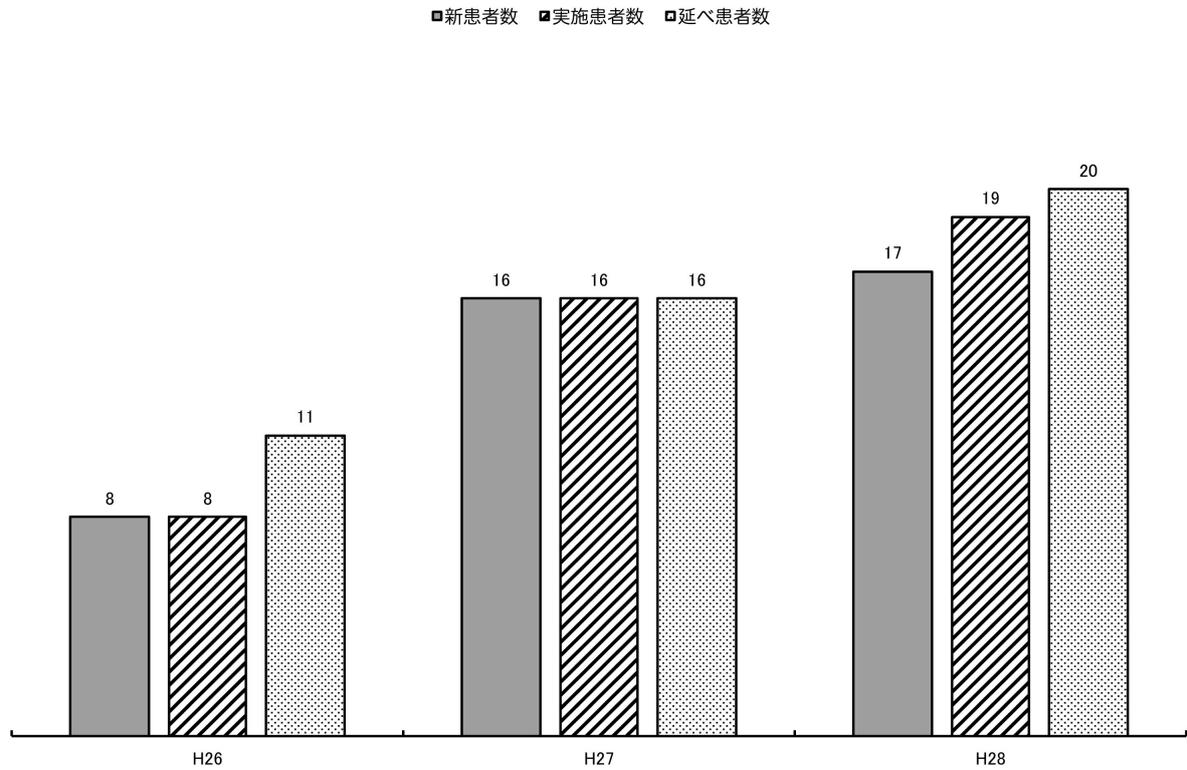
5) 口腔センター土浦における摂食嚥下リハビリテーション延べ患者数の年度別推移



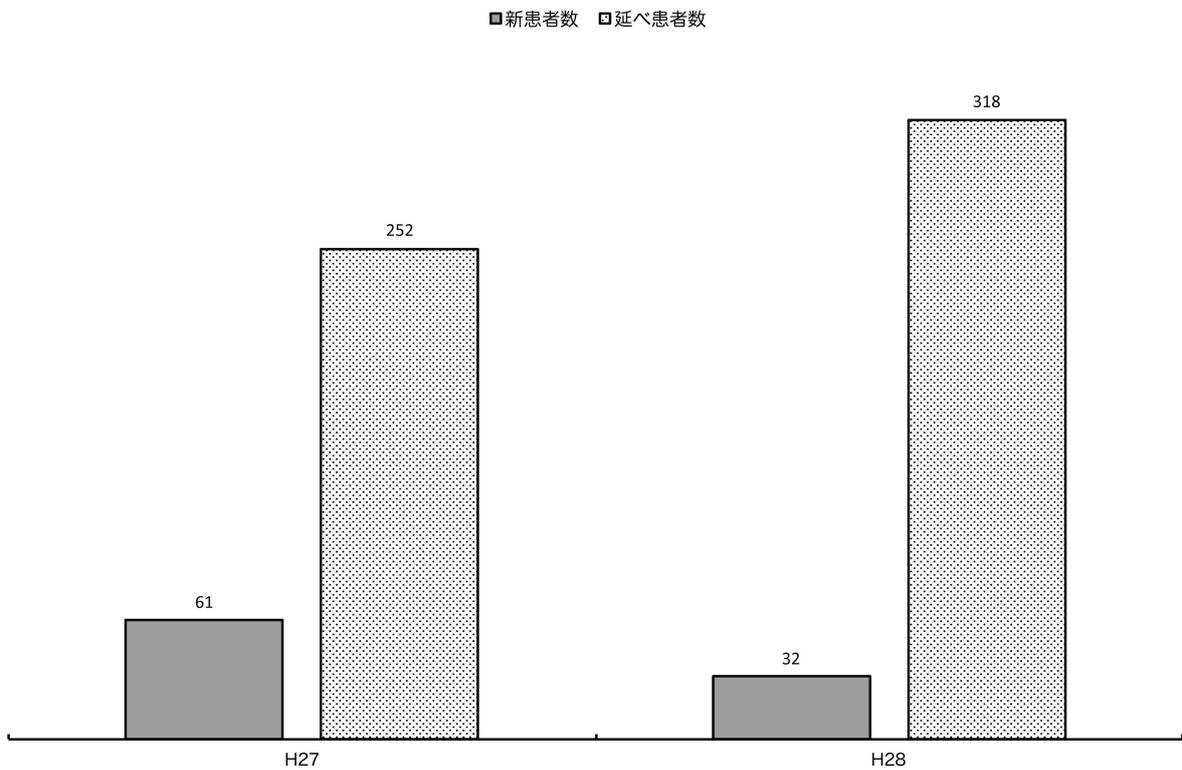
6) 口腔センター水戸における静脈内鎮静下歯科診療の新患者数・延べ患者数の年度別推移



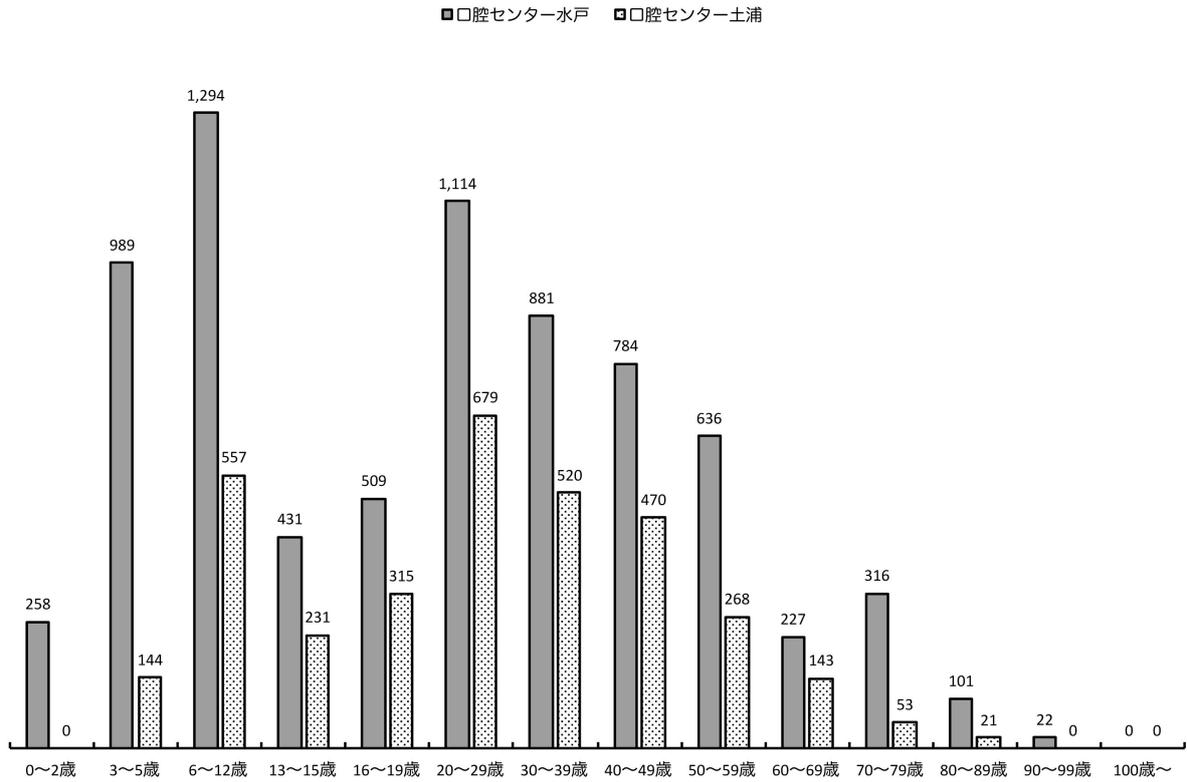
7) 口腔センター水戸における日帰り全身麻酔下歯科診療の新患者数・延べ患者数の年度別推移



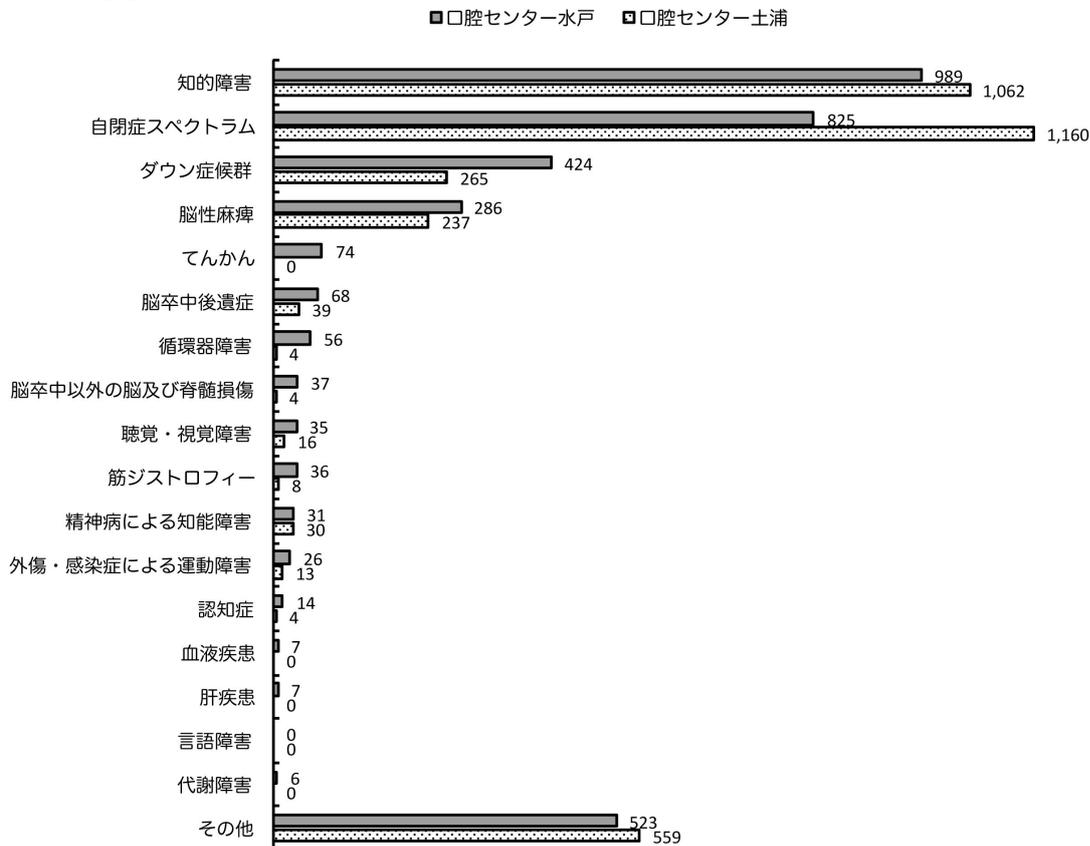
8) 口腔センター水戸における言語相談・指導の新患者数・延べ患者数の年度別推移



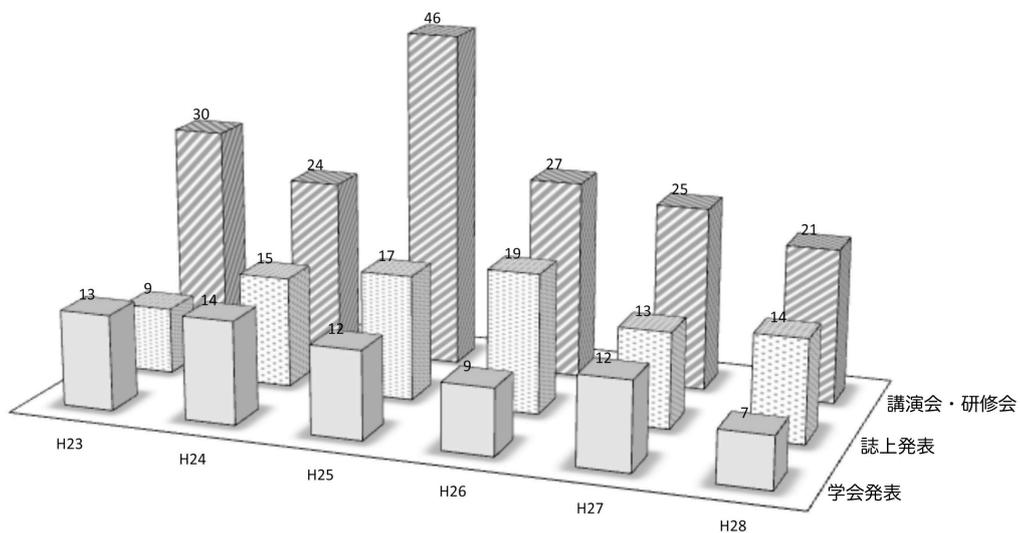
9) 平成28年度口腔センター水戸および口腔センター土浦における年齢別来院患者数



10) 平成28年度口腔センター水戸および口腔センター土浦における障害名別来院患者数



13) 研究業績の年度別推移



学会発表：口演，ポスター，シンポジウム，その他
 誌上発表：原著，臨床報告，解説，単行図書，コラム，その他
 講演会・研修会：茨城県歯科医師会主催，地域活動，その他

9. 写真で綴るこの1年

A. 会議

1) 第1回水戸・土浦センター合同医局会（於：茨城県歯科医師会館）



前列左より、大森勇市郎先生、関口 浩先生、森永和男会長、村居幸夫口腔センター担当理事
丸山容子先生、森永桂輔先生
二列左より、鬼澤璃沙歯科衛生士、鈴木伶菜歯科衛生士、グリーンナンせつゑ先生
三田村佐智代先生、木村貴子歯科衛生士、高木伸子先生、金子雅子歯科衛生士
横山恵美子歯科衛生士、雨海正江歯科衛生士、狩野晴美歯科衛生士
三列左より、大輪菜摘歯科衛生士、鈴木哉絵歯科衛生士、高橋裕子歯科衛生士
野村美奈歯科衛生士、手塚文栄管理栄養士、引地美穂歯科衛生士
坂巻ますみ歯科衛生士

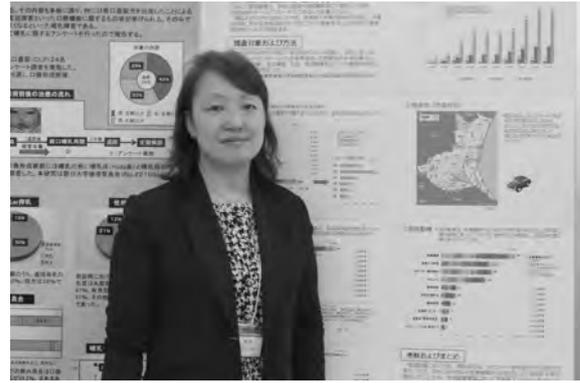
B. 学会

1) 第33回日本障害者歯科学会（於：さいたまソニックシティ）



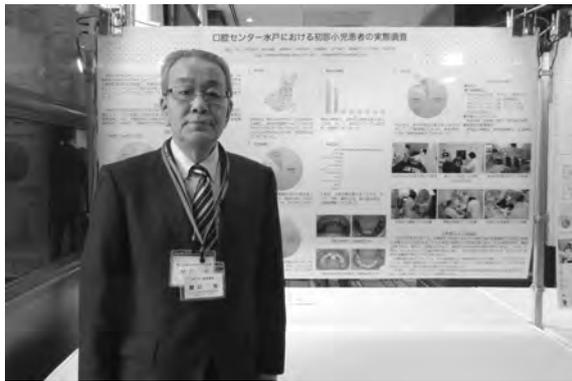


演者 関口 浩先生



演者 野村美奈 歯科衛生士

2) 第 25 回茨城県歯科医学会 (於: 水戸プラザホテル)



演者 関口 浩先生



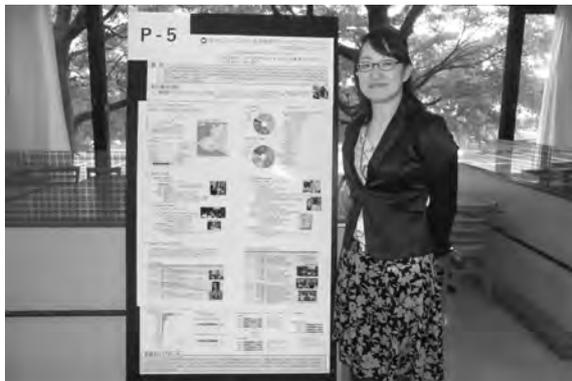
演者 大森勇市郎先生



演者(テーブルクリニック) 森永桂輔先生



3) 第 20 回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会 (於: 茨城県メディカルセンター)



演者 野村美奈 歯科衛生士

C. 講演会・研修会

1) 第25回茨城県歯科医学会 障害児・者歯科講演会（於：水戸プラザホテル）



講師 戸谷 剛先生



講演風景

2) 茨城県歯科医師会主催 第1回障害児・者歯科講演会（於：茨城県歯科医師会館）



講師 野本たかと先生



参加者の皆さん

3) 茨城県歯科医師会主催 第2回障害児・者歯科講演会（於：霞ヶ浦医療センター）



講師 藤川志つ子先生



参加者との質疑応答

4) 茨城県歯科医師会主催「障害児・者歯科研修会：ベーシックコース」



研修者とスタッフ一同



森永和男会長挨拶



講師 関口 浩先生



講師 グリーナンせつゑ先生



講師 梅澤幸司先生



講師 大森勇市郎先生



講師 三田村佐智代先生



講師 河野直弘先生



講師 磯野 敦先生



講師 手塚文栄先生



講師 野村美奈先生



講師 高木伸子先生



講師 森永桂輔先生



身体抑制具の装着体験実習



開口器の装着体験実習



笑気吸入鎮静の体験実習



研修修了者とスタッフ

5) 茨城県歯科医師会主催「摂食嚥下研修会」



6) 第5回北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会 (於: 茨城県立医療大学)



演者 野村美奈 歯科衛生士



シンポジウム

7) 心身障害児療育訓練センターにおける保護者勉強会 (於: ひたちなか市総合福祉センター)



講師 鈴木哉絵 歯科衛生士

D. その他

1) 水戸・土浦センター合同歓送迎会 (於: 水戸 TRAUM トraum)



2) 土浦・水戸センター合同忘年会 (於: 水戸サウスタワー桜坂)



3) 日本障害者学会出席者懇親会 (於: 銀座アスター 大宮賓館)



4) 口腔センター水戸歓送迎会



5) 口腔センター土浦送別会



10. 録 事

I. 口腔センター水戸

平成 28 年

- 4月 1日 鈴木伶菜, 大輪菜摘常勤歯科衛生士就任
- 4月 3日 障害児・者歯科研修会: ベーシックコース 1 日目(講義・実習)
場所: 茨城県歯科医師会館 3F 第 1 会議室, 口腔センター水戸診療室
講師: 関口 浩, グリーナンせつゑ, 梅澤幸司, 大森勇市郎, 三田村佐智代
実習: 梅澤幸司, 三田村佐智代
参加: 研修者 14 名
時間: 午前 10 時~午後 4 時
- 4月 11日 第 18 回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
出席: 関口 浩, 森永桂輔, 野村美奈, 鈴木哉絵, 鬼澤璃沙, 鈴木伶菜, 大輪菜摘
- 4月 14日 歓送迎会(於: イイジマ)
山下千春歯科衛生士送別会(衛生士科異動)
横山恵美子, 鈴木伶菜, 大輪菜摘歯科衛生士歓迎会
- 4月 17日 障害児・者歯科研修会: ベーシックコース 2 日目(講義・実習)
場所: 茨城県歯科医師会館 3F 第 1 会議室, 口腔センター水戸診療室
講師: 高木伸子, 梅澤幸司, 森永桂輔, 野村美奈, 手塚文栄, 磯野 敦, 河野直弘
実習: 森永桂輔, 高木伸子
参加: 研修者 11 名(3 名欠席)
時間: 午前 10 時~午後 4 時
- 4月 21日 鈴木伶菜, 大輪菜摘歯科衛生士に対する新人研修
期間: 4月 21 日~6月 9 日
回数: 7 回
内容: 各種薬剤・セメント類の取り扱い, ブローチ綿栓(拭掃・抱撰)の仕方, 局所麻酔の取り扱い, ラバーダム防湿, 生活歯髄切断法, 既製金属冠修復, コンボジットレジン冠修復, シーラント
担当: 関口 浩
- 4月 25日 第 51 回医局会
勉強会担当: 三田村佐智代
課題: 車椅子移乗方法と注意事項について
第 40 回初診患者ケースカンファレンス
担当: 関口 浩
医療安全報告・検討会
担当: 鈴木哉絵
- 4月 28日 荒木益代, 今井久美子非常勤職員就任(医療機器の洗浄・滅菌担当)
- 5月 6日 山田亜紀子非常勤言語聴覚士就任(第 1 金曜, 第 4 火曜勤務)
- 5月 9日 第 18 回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
出席: 関口 浩, 森永桂輔, 景山万貴子, 野村美奈, 鈴木哉絵, 鬼澤璃沙, 鈴木伶菜, 大輪菜摘
- 5月 20日 平成 27 年度茨城県障害児・者歯科治療センター記録(5)発刊
- 5月 24日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科第 2 学年前期臨床実習開始
期間: 5月 24 日~6月 17 日
編成: 1 グループ 3~5 人編成で 13 班
回数: 13 回(各班とも月~金の 1 日間)
人数: 50 人
- 5月 27日 茨城県立水戸特別支援学校主催の摂食指導研修会
場所: 茨城県立水戸特別支援学校
演題: 安全な食事をするために~摂食指導の基本的な考え方や誤嚥等の危険~
講師: 野村美奈, 鈴木哉絵歯科衛生士
対象: 保護者および教職員
時間: 午後 1 時 30 分~4 時 40 分
- 5月 30日 第 52 回医局会
勉強会担当: 景山万貴子
課題: 歯科治療時における抗血栓薬の休薬について
第 41 回初診患者ケースカンファレンス

- 担当：関口 浩，景山万貴子
医療安全報告・検討会
担当：鈴木哉絵
- 5月30日 第19回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
出席：関口 浩，森永桂輔，景山万貴子，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，鈴木伶菜
大輪菜摘
- 6月 5日 第1回 障害児・者歯科講演会
場所：茨城県歯科医師会館 3F 講堂
演題：摂食嚥下機能の正常発達と発達期障害児・者への対応
講師：野本たかと先生(日本大学松戸歯学部 障害者歯科学講座 教授)
参加：133名
- 6月 5日 第1回水戸・土浦センター合同医局会
場所：茨城県歯科医師会館 3F 第1会議室
出席：森永和男会長，村居幸夫先生
(水戸)関口 浩，大森勇市郎，森永桂輔，三田村佐智代，グリーンナンせつゑ
野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，鈴木伶菜，大輪菜摘，金子雅子
高橋裕子，横山恵美子
(土浦)丸山容子，高木伸子，梅澤幸司，坂巻ますみ，引地美穂，木村貴子
狩野晴美，雨海正江，手塚文栄
人見順一(歯科専門学校事務所属長)
- 6月 5日 水戸・土浦センター合同歓送迎会
場所：TRAUMトラウム(水戸)
出席：森永和男会長，村居幸夫先生
(水戸)関口 浩，大森勇市郎，森永桂輔，グリーンナンせつゑ，野村美奈
鈴木哉絵，鬼澤璃沙，鈴木伶菜，大輪菜摘，山田亜紀子，今井久美子
(土浦)丸山容子，高木伸子，坂巻ますみ，引地美穂，木村貴子，狩野晴美
雨海正江，手塚文栄
山下千春(歯科衛生士科所属)
- 6月10日 根本美枝子(日立市保健福祉部障害福祉課)，他5名が日立市心身障害者歯科診療所再
整備に伴う施設設備見学のため来院
- 6月21日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科第2学年に対する障害者歯科学講義開始
期間：6月21日～10月27日
回数：10回
時間：90分/1回(計15時間)
内容：障害者歯科総論，障害者歯科診療に応用される行動調整法，障害の種類と歯
科的特徴，障害者と薬剤，障害者歯科における歯科衛生士の役割，障害者の
歯科保健指導と口腔保健管理，障害者歯科におけるリスク評価と安全管理
士の役割
担当：関口 浩，森永桂輔
- 6月24日 坂東市こども発達センター主催の児童発達支援事業
場所：坂東市こども発達センターつくし(猿島保健センター内)
演題：こども発達センターにおける個別指導・訓練
講師：鈴木哉絵歯科衛生士
回数：4回(6月24日，7月21日，10月29日，平成29年1月19日)
時間：午前9時～午後5時
- 6月29日 第53回医局会
勉強会担当：野村美奈
課題：摂食嚥下リハビリテーションの症例報告
第42回初診患者ケースカンファレンス
担当：関口 浩
医療安全報告・検討会
担当：鈴木哉絵
- 7月 3日 第7回関東障害者歯科臨床研究会(於：山梨県立図書館2階多目的ホール)
- 7月 4日 第20回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス(第31，32症例)
出席：関口 浩，森永桂輔，景山万貴子，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，鈴木伶菜
大輪菜摘
- 7月21日 坂東市こども発達センター主催の児童発達支援事業
場所：坂東市こども発達センターつくし(猿島保健センター内)

- 演題：こども発達センターにおける個別指導・訓練
 講師：野村美奈歯科衛生士
 時間：午前9時～午後5時
- 7月29日 第54回医局会
 第43回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，大森勇市郎
- 7月30日 鈴木伶菜，大輪菜摘両歯科衛生士 BLS 資格取得
- 8月 1日 第21回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
 出席：関口 浩，森永桂輔，景山万貴子，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙，鈴木伶菜
 大輪菜摘
- 8月 4日 西蓮寺寿恵さん(元口腔センター水戸常勤歯科衛生士，現在茨城歯科専門学校歯科衛生士科教員)結婚祝賀会，水戸センター納涼会(於：わさびの花)
- 8月28日 第5回北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会において野村美奈歯科衛生士講演
 会場：茨城県立医療大学
 課題：食べる機能に障害のあるこどもへの摂食支援の取組み(シンポジウム)
 障害者歯科治療センターにおける取組み
- 8月29日 第55回医局会
 勉強会担当：鈴木哉絵，高橋裕子
 課題：歯科衛生ケアプロセスの実施
 がん治療とお口の関係～がん治療における歯科の役割～
 第44回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，景山万貴子
 医療安全報告・検討会
 担当：鈴木哉絵
- 9月 1日 第1回センター運営委員会
 場所：茨城県歯科医師会館会議室
- 9月 5日 第22回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
 出席：関口 浩，森永桂輔，景山万貴子，野村美奈，鈴木哉絵，鈴木伶菜，大輪菜摘
- 9月23日 第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
 ～24日 場所：朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター)
 参加：三田村佐智代，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙
- 9月28日 第56回医局会
 勉強会担当：金子雅子
 課題：舞踏劇団「創」(生まれる)について
 第45回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，グリーンナンセつゑ
 医療安全報告・検討会
 担当：鈴木哉絵
- 9月30～ 第33回日本障害者歯科学会総会および学術大会
 10月 2日 会場：ソニックシティ(さいたま市)
 演題：ポスター2題発表
 参加：関口 浩，三田村佐智代，グリーンナンセつゑ，野村美奈，鈴木哉絵，鬼澤璃沙
 大輪菜摘，鈴木伶菜
- 10月 2日 第31回日本小児歯科学会関東地方会大会
 場所：コラニー文化ホール(甲府)
 参加：関口 浩
- 10月 3日 平成28年度「障害児・者歯科研修会：ベーシックコース」修了証授与式
 場所：茨城県歯科医師会館3F 第1会議室
 出席：森永和男会長，村居幸夫口腔センター担当理事，関口 浩，研修者3名
- 10月 3日 茨城歯科技工専門学校歯科技工士科2学年のセンター歯科技工実習開始
 期間：10月3日～10月20日
 時間：9時30分～12時
 内容：見学実習
 編成：1グループ2人編成で5班
 回数：5回(各班とも月・木・金の1日間)
 人数：10人
- 10月 4日 第23回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
 出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鈴木伶菜，大輪菜摘

- 10月12日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科第2学年後期臨床実習
 期間：10月12日～2月14日
 編成：1グループ4～5人編成で11班
 回数：11回(各班とも月・火・水・金の4日間)
 人数：50人
- 10月25日 茨城県立岩瀬高等学校第2年生徒5名が施設見学のためセンター来訪
- 10月27日 茨城県立こども病院主催の集談会でスタッフ・職員に対して講演
 担当：関口 浩
 課題：NICUや小児病棟から口腔の定期管理が提供できる体制作りを目指して
- 10月29日 坂東市こども発達センター主催の児童発達支援事業
 場所：坂東市こども発達センターつくし(猿島保健センター内)
 演題：こども発達センターにおける個別指導・訓練
 講師：鈴木哉絵歯科衛生士
 時間：午前9時～午後5時
- 10月29日 第6回重症心身障害児等支援従事者研修会で講演
 場所：土浦共同病院
 担当：関口 浩
 課題：(公社)茨城県歯科医師会茨城県口腔センターにおける障害児・者歯科医療の取り組みと課題
- 10月31日 第57回医局会
 勉強会担当：鬼澤璃沙
 課題：症例報告
 第46回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩
 医療安全報告・検討会
 担当：鈴木哉絵
- 10月31日 第24回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
 出席：関口 浩, 森永桂輔, 景山万貴子, 野村美奈, 鈴木哉絵, 鬼澤璃沙, 鈴木伶菜
 大輪菜摘
- 11月 2日 社会福祉法人北養会理事長, 園長および北水会記念病院理事長など5名, ことばの教室見学のためセンターに来訪
- 11月14日 第2回水戸・土浦センター合同医局会および第1回障害児者歯科診療推進小委員会
 場所：霞ヶ浦医療センター会議室
- 11月30日 第58回医局会
 勉強会担当：グリーンナンセつゑ
 課題：小児の睡眠時無呼吸症候群
 第47回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩, グリーンナンセつゑ
 医療安全報告・検討会
 担当：鈴木哉絵
- 12月 3日 第20回茨城県総合リハビリテーションケア学会学術集会
 会場：茨城県メディカルセンター(水戸市)
 演題：ポスター1題発表
- 12月 8日 茨城県歯科専門学校歯科衛生士科第3学年国家試験対策補習講義
 回数：1回
 時間：90分
 内容：障害者歯科
 担当：関口 浩
- 12月14日 水戸・土浦センター合同忘年会(於：桜坂水戸南口店, 水戸サウスタワー10F)
- 12月16日 ひたちなか市総合福祉センター/心身障害児療育訓練センター野蒜教室・かなりや教室における保護者勉強会
 場所：ひたちなか市総合福祉センター/心身障害児療育訓練センター
 対象：野蒜教室に通所している幼児および保護者
 内容：講話 保護者のみ「食べる機能を育てる大切さ」
 実技 親子「お子さんにあった摂食指導」
 講師：野村美奈, 鈴木哉絵歯科衛生士
- 12月21日 第59回医局会
 勉強会担当：磯野 敦

- 課題：児童ディサービスとは～障害者総合支援法について～
 第 48 回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩
- 12 月 21 日 第 25 回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
 出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木哉絵，鈴木伶菜，大輪菜摘
- 12 月 28 日 仕事納め

平成 29 年

- 1 月 5 日 仕事始め
- 1 月 5 日 ひたちなか市総合福祉センター心身障害児療育訓練センターにおける保護者勉強会
 場所：ひたちなか市総合福祉センター/心身障害児療育訓練センター
 対象：かなりや教室に通所している幼児および保護者
 内容：講話 保護者のみ「歯の健康を保つために」
 実技 親子「お子さんに合った食事の形状や量・食具の使い方指導」
 講師：鈴木哉絵，鈴木伶菜
- 1 月 19 日 坂東市こども発達センター主催の児童発達支援事業
 場所：坂東市こども発達センターつくし(猿島保健センター内)
 演題：こども発達センターにおける個別指導・訓練
 講師：野村美奈歯科衛生士
 時間：午前 9 時～午後 5 時
- 1 月 25 日 第 60 回医局会
 勉強会担当：横山恵美子
 課題：いのちの値段
 第 49 回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩
- 2 月 2 日 大成女子高等学校第 1 年生徒 3 名が職場体験のためセンター見学
 ～3 日
- 2 月 7 日 筑波大学医学群医学類第 5 年次学生 7 名が社会医学実習のためセンター見学
- 2 月 9 日 第 2 回センター運営委員会
 場所：茨城県歯科医師会館会議室
- 2 月 15 日 茨城歯科専門学校歯科衛生士科第 1 学年の臨床実習前オリエンテーション
 担当：関口 浩，野村美奈
- 2 月 22 日 茨城県歯科専門学校歯科衛生士科第 1 学年生徒見学実習
 期間：2 月 22 日～3 月 16 日
 編成：1 グループ 4 人編成で 13 班
 回数：13 回(各班とも火，水，木，金のいずれか 1 日)
 人数：52 人
- 2 月 27 日 第 61 回医局会
 勉強会担当：大輪菜摘
 課題：リハビリテーションについて
 第 50 回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，景山万貴子
- 2 月 27 日 第 26 回日帰り全身麻酔下歯科診療術前カンファレンス
 出席：関口 浩，森永桂輔，野村美奈，鈴木伶菜
- 3 月 9 日 重症心身障害児等支援従事者研修事業報告会に野村美奈歯科衛生士出席
- 3 月 12 日 第 25 回茨城県歯科医学会
 会場：水戸プラザホテル
 題数：ポスター 1 題，口演 1 題，テーブルクリニック 1 題，障害児・者歯科講演会
- 3 月 30 日 4 月新採用の白戸美香常勤歯科衛生士研修(2 日間)
- 3 月 31 日 第 62 回医局会
 勉強会担当：鈴木伶菜
 課題：歯科診療時における全身的偶発症
 第 51 回初診患者ケースカンファレンス
 担当：関口 浩，大森勇市郎
- 3 月 31 日 鈴木哉絵，大輪菜摘両歯科衛生士退職

10. 録 事

II. 口腔センター土浦

平成 28 年

- 4月 1日 雨海正江非常勤歯科衛生士就任
- 4月 4日 平成 28 年度障害児・者歯科研修会 ベーシックコース 1 日目
場所：茨城県歯科医師会館
- 4月 8日 3 月分レセプト提出
- 4月 17日 平成 28 年度障害児・者歯科研修会 ベーシックコース 2 日目
場所：茨城県歯科医師会館
- 4月 28日 ベーシックコース見学
中田歯科医師
口腔センター土浦移設検討臨時小委員会
場所：医療センター
出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士
- 5月 9日 4 月分レセプト提出
- 5月 10日 バキューム，コンプレッサー点検
- 5月 11日 ベーシックコース見学
塚田歯科衛生士
- 5月 18日 ベーシックコース見学
丸山歯科医師
- 5月 19日 ベーシックコース見学
松浦歯科医師，吉田歯科衛生士
- 5月 20日 ベーシックコース見学
野上歯科医師，倉持(恵)歯科衛生士
外部放射線測定
- 5月 23日 ベーシックコース見学
岩村歯科衛生士
- 5月 26日 ベーシックコース見学
倉持歯科衛生士，増田歯科衛生士
口腔センター土浦移設検討小委員会
場所：茨城県歯科医師会館
出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士
- 6月 2日 ベーシックコース見学
岩村歯科衛生士
- 6月 5日 歯科医師会主催第 1 回障害児・者歯科講習会
「摂食嚥下機能の正常発達と発達期障害児・者への対応」
第 1 回口腔センター水戸・土浦合同医局会
口腔センター歓送迎会
- 6月 6日 センター土浦移設打ち合わせ
出席：高木伸子先生，丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士，手塚文栄管理栄養士
- 6月 7日 ベーシックコース見学
倉持歯科衛生士
- 6月 8日 5 月分レセプト請求
- 6月 27日 ベーシックコース見学
岩村歯科衛生士
- 6月 30日 実務者会議 坂巻出席
口腔センター土浦移設検討小委員会
場所：茨城県歯科医師会館
出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士
- 7月 8日 6 月分レセプト請求
- 7月 21日 ベーシックコース見学
柳川歯科医師
- 7月 28日 実務者会議 坂巻出席
口腔センター土浦移設検討小委員会
場所：茨城県歯科医師会館
出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士

- 8月 5日 ベーシックコース見学
倉持(恵)歯科衛生士
- 8月 9日 7月分レセプト請求
- 8月18日 茨城県歯科医師会納涼会
出席：坂巻ますみ，引地美穂歯科衛生士
- 8月19日 県保険予防課 課長 根本氏 滝沢歯科医師 来所
- 8月24日 実務者会議 坂巻出席
口腔センター土浦移設検討小委員会
場所：茨城県歯科医師会館
出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士
- 8月28日 第5回北関東摂食嚥下リハビリテーション研究会
「小児の摂食嚥下機能を育てる」
場所：県立医療大学
- 9月 1日 第1回口腔センター運営委員会
場所：茨城県歯科医師会館
出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士
- 9月 2日 ベーシックコース見学
倉持(百)歯科衛生士
- 9月 8日 8月分レセプト請求
ベーシックコース見学
増田歯科衛生士
- 9月 9日 ベーシックコース見学
松浦歯科医師
- 9月20日 ベーシックコース見学
塚田歯科衛生士
- 9月23日 摂食嚥下リハビリテーション学会(新潟)
～25日 出席：坂巻ますみ歯科衛生士
- 9月26日 ベーシックコース見学
塚田歯科衛生士
- 9月27日 口腔センター土浦移設検討小委員会
場所：霞ヶ浦医療センター
出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士
- 9月30～ 第33回日本障害者歯科学会
- 10月 1日 場所：大宮ソニックシティ
出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士，引地美穂歯科衛生士
- 10月 7日 9月分レセプト請求
- 10月11日 ベーシックコース見学
塚田歯科衛生士
- 10月29日 重症心身障害児等支援従事者研修会
主催：国立病院機構茨城東病院
場所：土浦協同病院
出席：坂巻ますみ歯科衛生士
- 11月 9日 10月分レセプト請求
- 11月14日 口腔センター水戸・土浦合同医局会
障害児・者歯科診療推進小委員会
場所：霞ヶ浦医療センター
- 12月 8日 11月分レセプト請求
- 12月14日 口腔センター水戸・土浦合同忘年会
場所：桜坂(水戸)
- 12月26日 CAD・CAM 申請書送付
- 12月28日 仕事納め

平成 29 年

- 1月 5日 仕事はじめ
- 1月10日 12月分レセプト請求
- 1月24日 征矢 学先生見学のため来所
- 1月28日 重症心身障害児等支援従事者研修会
演題：「NICU とその後の重症心身障害児の医療と看護」

- 講師：茨城県立こども病院小児科医長 竹谷俊樹先生
 主催：国立病院機構 茨城東病院
 場所：愛正会記念 茨城福祉医療センター
 出席：坂巻ますみ歯科衛生士，引地美穂歯科衛生士
- 2月 5日 茨城県歯科医師会主催 障害児・者講演会
 課題：発達的な偏りを持つ子どもの伸びやかな育ちを支えるために～それぞれのライフステージでの大人の関わりのポイントを考える～
 講師：藤井志つ子先生
 場所：霞ヶ浦医療センター
- 2月 8日 1月分レセプト請求
- 2月 9日 第2回センター運営委員会
 場所：茨城県歯科医師会館
 出席：丸山容子先生，坂巻ますみ歯科衛生士
- 2月15日 防災点検
- 3月 2日 センター土浦移設会議
 場所：茨城県歯科医師会館
 出席：坂巻ますみ歯科衛生士
- 3月 8日 2月分レセプト請求
- 3月12日 第25回歯科医学会
 課題：重症児の栄養と地域連携～小児の栄養の現状と課題：在宅医の立場から～
 講師：戸谷 剛先生
- 3月31日 西山めい先生退職
 西山先生送別会(於：いしぎき)

11. 編集後記

▶ 「口腔センター土浦」移設事業

口腔センター土浦の施設設計は終了し、現在業者の選定が行われています。スケジュールでは今年の5月に建設工事が着工され、12月初めに完成・開院する予定です。その間にスタッフの補充が決定されますが、新たに麻酔医スタッフが補充されるそうです。これまで口腔センター土浦から口腔センター水戸に紹介されていた薬物対応の患者は、口腔センター土浦での対応が可能となることから、患者・保護者にとって地元で治療を受けられるようになり、患者受入体制の強化に繋がることで喜ばしい限りです。

さらに、施設規模は口腔センターより大きく、安心・安全な歯科診療が行える環境が整った新しい口腔センターの開設が望まれます。

▶ 「口腔センター記録」発行終了

「口腔センター記録」は、口腔センター水戸および口腔センター土浦の1年間の学会発表、誌上発表、講演会、講習会などの学術活動および患者統計、スタッフ紹介、録事などを冊子にまとめた物です。

この記録集の発行目的は、茨城県歯科医師会ならびに茨城県歯科衛生士会の会員の方々および関係医療機関、施設関係、行政関係者などの皆様にセンターの活動状況を報告するためと記録が散逸し、センターの活動内容が不明なることを防止するために、年度ごとに両センターの記録をまとめるために行ってきました。

平成23年度から発行してきました「口腔センター記録」は、残念ではありますが、口腔センター管理委員会の命により、急遽発行を終了することになりました。

平成28年度(6)については、すでに編集・校正が終了していますので、PDFファイルでセンタースタッフのみに配布したいと思います。

最後に、本誌の編集に際して、ご協力いただいた口腔センター水戸および口腔センター土浦のスタッフ各位に感謝を申し上げます。

平成29年3月31日

口腔センター水戸

関口 浩

平成28年度 (公社)茨城県歯科医師会 口腔センター記録(6)

発行日	平成29年5月20日
発行者	公益社団法人 茨城県歯科医師会 〒310-0911 水戸市見和 2-292-1 電話 029-254-4177
印刷所	株式会社 プリントパック 京都本社 〒617-0003 京都府向日市森本町野田 3-1 電話 0120-977-920
